



KISARAZU KOSEN

National Institute of Technology (KOSEN), Kisarazu College

独立行政法人国立高等専門学校機構

木更津工業高等専門学校

学校要覧

2019

校 旗



校 章



本校の校章は、所在地千葉県県の県花である十字花植物の菜の花をかたちどり、その4枚の花弁が互いに力強く組み合っている形は、本校学生のゆるぎない協力と団結の姿を表し、また上下左右にのびる花弁は、それぞれに輝かしい未来に向かってたくましく向上、発展する姿を示したものです。

シンボルマーク



本校のシンボルマークは、創立50周年を記念した公募により選定されました。

木更津市のシンボルの木である「椿」にテクノロジーの礎として「六角ナット」を組み合わせたもので、スクールカラーの「濃い紫みの青」を構成色としています。

椿の花言葉は「誇り」です。学生に誇りを持って勉学に励み、世界に羽ばたき活躍して欲しいといった願いが込められています。

また、ものづくりには基礎が大事であり、六角ナットを組み込むことで、基礎の大切さを心に刻んで有意義な学生生活を送ってほしいとの願いも込められています。

校 歌

「風のランナー」

作詞 片岡 輝 作曲 坪能 克裕

- 一 丘に立ち風に耳を澄ませば
潮騒によみがえりくる
いにしえびとの知恵と技
心揺るがすその熱き思いを
友よ いま受け継いで
明日へ向かって走れ
- 二 木更津の丘に集い学べば
時をこえよみがえりくる
真理へ寄せる愛と夢
希望あふれるその高き理想を
友よ いま追い求め
明日へ向かって走れ
- 三 さつき萌ゆ丘に技を磨けば
この腕によみがえりくる
創るよろこび生む力
地球の未来その肩に担って
友よ いま生命の限り
明日へ向かって走れ 走れ 走れ

学校長挨拶

学校長
佐久間 研二



高等専門学校は、中学校卒業後、5年一貫教育で本格的な理工学教育を行い、実践的・創造的エンジニアを育てることを目的とする高等教育機関です。本校は、京葉工業地帯などの産業技術界を視野に、各分野で活躍できる人材育成を目指し、昭和42年に創設されました。近年、アクアラインや圏央道の開通に伴って利便性が著しく向上し、羽田・成田両空港にも近いことから、我が国有数の国際的・地理的好条件を有する国立高等教育機関の一つになっています。

【木更津高専の特徴】

本校には機械、電気電子、電子制御、情報、環境都市の準学士課程(5学科)と、機械・電子システム工学、制御・情報システム工学、環境建設工学の専攻科(3専攻)があり、それぞれ特色のある授業を行います。

5年一貫の準学士課程においては、人文・基礎の一般教育に加えて、学理と演習・実験・実習を共に重視した専門教育を行い、未来の科学技術を担うエンジニアを育成します。

専攻科では、さらに2年間の高度な専門教育と研究を進め、複合領域での能力や国際的対応力を備える教育を行います。専攻科修了者には大学改革支援・学位授与機構の第三者審査を経て、国際的な大学教育基準に関連する JABEE で保障される大学と同じ学士(工学)の学位が授与されます。

準学士課程卒業生・専攻科修了生は高い就職内定率と多数の大学編入学・大学院進学を誇り、それぞれの場で優れた実績を挙げています。特に近年、本校卒業生・修了生の評価の高まりから、国立大学などと連携協定などを新たに締結しています。

本校の教員は、自らの専門教育分野を深め、専門性を究める研究活動に励み、また技術相談や共同研究、生涯学習の機会提供や初等中等教育機関への出前授業など、様々な地域連携活動に取り組んでいます。

また、学生・教員の海外派遣や外国人留学生の受入れなどの国際交流活動も積極的に展開しています。

本校は、これまでの半世紀の歴史と伝統を踏まえ、教育、研究、地域貢献、国際交流、それぞれの分野における更なる充実を図っていきます。特に本校の強みである国際化を一層加速させるとともに、社会の要請である情報セキュリティ人材の育成などに注力して行きたいと思えます。

今後とも本校に対する関係各位のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

National Institute of Technology (KOSEN), Kisarazu College

Contents

- 2 本校の使命、本校の教育方針
国立高専の教育制度
- 3 本校の三つの方針
- 5 沿革
- 6 組織
- 8 準学士課程
- 10 一般教育
- 12 機械工学科
- 14 電気電子工学科
- 16 電子制御工学科
- 18 情報工学科
- 20 環境都市工学科
- 22 専攻科
機械・電子システム工学専攻
制御・情報システム工学専攻
環境建設工学専攻
- 24 JABEE
- 25 連携協定等締結先一覧
- 26 国際交流
- 28 地域共同テクノセンター
- 30 主要施設等
教育研究支援センター
実験実習棟
- 31 図書・ネットワークセンター棟
- 32 学寮
- 33 保健室、学生相談室、福利厚生施設
- 34 校友会組織
- 35 令和元年度の行事予定
- 36 学生の概況
- 38 進路状況
- 40 収入・支出等
- 41 施設の概要

本校の使命

木更津工業高等専門学校は、教育基本法（昭和 22 年法律第 25 号）の精神にのっとり、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に基づいて、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。また本校専攻科は、高等専門学校の基礎の上に、更に高度な専門的知識と技術を教授し、創造性豊かな技術能力を育成することを目的とする。

本校の教育方針

(1) 人間形成

いかにすぐれた知識・技能があっても、人間性に欠けるところがあれば、これを正しく発揮することはできない。何にもまして人間形成は重要である。すぐれた人間としては、幅広い教養を基本として、自ら考え自主的に決断する判断力、自ら工夫し新しいものを造り出す創造力、自ら良しとしたことをいかなる障害にも屈せずに行う実行力の三つの能力を備えなければならない。

本校は、これらの能力を養い発揮させることに努める。

(2) 専門の科学技術の修得

21 世紀を迎えた現在、科学技術の発展は想像を絶するものがある。本校の学生は将来、指導的立場に立つ技術者として、この発展に対応し、さらにこの発展に寄与していかなければならない。

そのためには、最新の科学技術の成果を知るばかりでなく、これらの科学技術の基礎となる理論、原理を十分に理解しなければならない。

本校は、機械、電気電子、電子制御、情報、環境都市の各工学分野において、自らが専門とする科学技術の最新の成果とその根本の原理を修得させるとともに、これらの境界領域に対する率先した取り組みを含め、広範に活躍しうる技術者の養成に努める。

(3) 心身の鍛錬

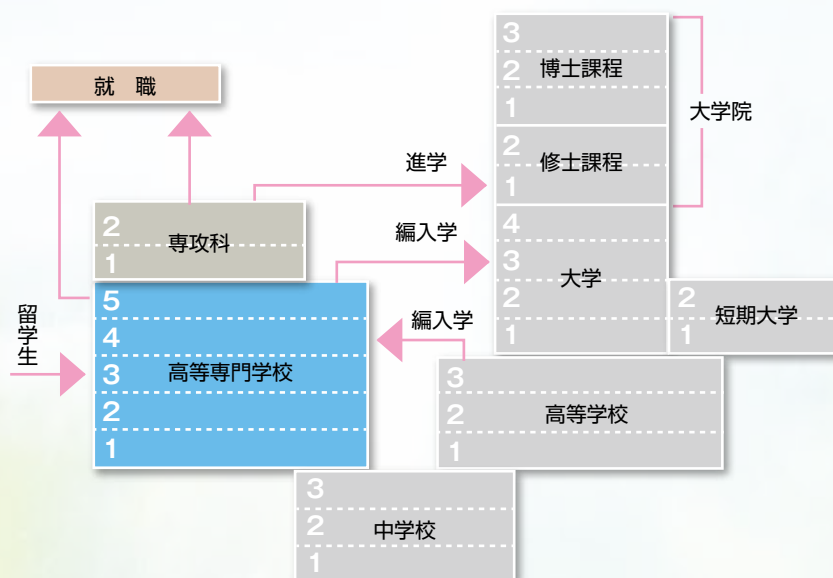
将来、すぐれた技術者として社会に貢献するためには、健康な身体と精神を培うことが必要である。

本校は、教科教育に加え課外活動への参加を奨励し、身体の鍛錬、豊かな情操の育成に努める。

国立高専の教育制度

国立高等専門学校（高専）は、5 年間の一貫教育の中で一般教養や専門的技術を教授し、社会に貢献する実践的技術者を育成するための高等教育機関です。

卒業生には、準学士の称号が授与され、就職の他に、大学 3 年次編入・高専の専攻科への進学が可能です。更に、専攻科を卒業した学生は、就職や大学院修士課程への進学ができます。



本校の目指すところ

木更津工業高等専門学校では、幅広い教養を基本とし、国際的視野を持ち、自ら考え決断する判断力、自ら工夫し新しいものを造り出す創造力、自らの信念に基づき困難にも屈せず遂行する実行力の三つの能力を備えた創造的エンジニアとしての人材の養成を目指します。あわせて、健康な身体と精神、豊かな情操を培い、各専門の科学技術発展と成果の基礎となる理論を十分に理解して、社会に貢献でき、広範囲に活躍する実践的技術者の育成教育に努めます。本校ではこれらの目標の実現のために次の三つの方針を掲げます。

準学士課程(本科)の三つの方針

[1] アドミッションポリシー(入学受け入れの方針)

以下に示す「求める学生像」に適した者を、「入学者選抜の基本方針」に沿って、国内外から広く受け入れます。

求める学生像(本科共通)

1. 数学や理科などの理数系科目が得意で科学技術及び英語など外国語にも興味・関心がある人
2. 自ら考え、様々な課題に意欲を持って取り組む実行力を身に付けたい人
3. 社会のルールを尊重し、学業や課外活動、学校行事などの学生生活を積極的に送ろうとする人
4. コミュニケーション能力と協調性を有し、指導的立場に立つ技術者として社会の発展に貢献したい人

各学科の求める学生像

本科共通に加えて

機械工学科

機械工学に興味や関心があり、自ら考え、機械工学に関連するさまざまな課題に意欲を持って取り組みたい人

電気電子工学科

電気電子工学に強い興味をもち、学習意欲が旺盛である人

電子制御工学科

電子工作、機械工作、プログラミングなどのものづくりに興味があり、ロボット技術のように制御、電気電子、機械、情報処理などの技術を融合した知識を身につけたい人

情報工学科

計算機ハードウェア・ソフトウェア技術や情報通信技術に関心のある人

環境都市工学科

- ・自然と人のかかわりに興味を持ち、自然環境の保全や防災についての理解を深めたい人
- ・社会に役立つ社会基盤施設の設計や建設について学びたい人

(*)編入学者へのアドミッションポリシー

本校準学士課程への編入学者に関しては、上記のほか以下に以下のポリシーを設けます。

1. 高等学校において理数系または工学の基礎を習得した人、または教育機関等において同様の学力を獲得したと認められる人
2. 希望する学科の教育目標・教育課程を十分に理解し、社会のルールを尊重し、自主的・積極的に学業に取り組む姿勢を有する人

入学者選抜の基本方針

(1)推薦選抜

出身中学校長が責任を持って推薦し、本校への入学意志が強い志願者のうち、「求める学生像」に適しリーダーとなりうる優れた者を、調査書及び推薦書等の提出資料並びに面接検査及び適性試験により総合的に選抜する。

(2)学力選抜

「求める学生像」に適した者を、中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜する。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とし、総合的に優れた志願者を受け入れる。

(3)編入学選抜

編入学者選抜に関しては、出身教育機関の長などが責任を持って推薦した志願者のうち、本校教育に十分な基礎学力を有する者を受け入れる。

[2] カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

木更津工業高等専門学校では、本校のディプロマポリシーに基づき、アドミッションポリシーに沿って入学した学生に対して以下のカリキュラムポリシーに則り教育を行います。

本科共通

1. 低学年では、数学、物理、化学などの理系教養科目、及び英語、国語、歴史などの文系教養科目を多く配置し、高学年では各専門科目が多くなるくさび形に授業科目を編成する。
2. 各専門科目について、基礎学力、基礎的な知識、関連する知識・技術、応用力が身につくようにバランス良く授業科目を編成する。
3. 自ら工夫して様々な課題に取り組む、社会に貢献できる総合的な能力を育成するために、アクティブラーニング、自主学習、実験・実習・課題研究・卒業研究を系統的に編成する。

各学科のカリキュラムポリシー

本科共通に加えて

機械工学科

力学、材料分野、熱流体分野、生産システム分野、計測制御分野を中心とした基礎的な機械工学に関連する幅広い知識や技術が身につくようにバランス良く授業科目を編成する。

電気電子工学科

電子・情報通信・コンピュータ・材料・計測・制御・電気機器・エネルギーなど、現代の高度化技術社会の基礎に係わる教育を行い、創造力が豊かで次世代の産業社会を担うことができるように授業科目を編成する。

電子制御工学科

創造的な技術開発ができる技術者を育成するため、制御工学を中心として、電気電子、機械、情報処理などの基礎工学に関する幅広い知識、技術と応用力が身につくようにバランス良く授業科目を編成する。

情報工学科

情報処理の基本技術である計算機ハードウェアとソフトウェア技術を中心に、インターフェース技術・情報通信技術などの関連分野の知識を含めた、総合的な情報処理システムの知識が身につくように、授業科目を編成する。

環境都市工学科

自然科学、語学、文化、情報処理、測量学を基礎として、構造工学、建設材料学、地盤工学、水工学、衛生工学、生態学に関する専門科目を系統的に配置し、講義、演習、実験・実習、課題研究、卒業研究を組み合わせた授業を編成する。

[3] ディプロマポリシー（卒業認定の方針）

本校では、準学士の称号にふさわしい実践的・国際的エンジニアとして、以下に示す能力を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

本科共通

1. 自らの専門とする科学技術について基礎学力、基礎的な知識、関連する知識・技術、応用力を身につけて、それらを活用できる（応用的な問題の解決ができる）。
2. 修得した知識や技術をもとに各専門分野における問題発見、問題解決及びプレゼンテーションができる。
3. 豊かな教養と倫理観を身につけ、社会に貢献できる。

各学科のディプロマポリシー

本科共通に加えて

機械工学科

機械工学に関連する基礎学力、基礎的な知識や技術を修得し、それらを活用して問題を解決できる。

電気電子工学科

電気電子工学分野における基礎的及び専門的な知識・技術を修得し、その知識・技術を応用する力を身につける。

電子制御工学科

制御工学を中心として、電気電子、機械、情報処理などの基礎工学に関する幅広い知識を修得し、それらを活用できる。

情報工学科

情報技術を身につけた人。

環境都市工学科

構造工学、建設材料学、地盤工学、水工学、衛生工学、生態学、測量学、情報処理技術に関する基礎的な知識、技術、応用力を身につけ、活用することができる。

専攻科の三つの方針

[1] アドミッションポリシー（入学受け入れの方針）

本更津工業高等専門学校の専攻科では、以下に示す「求める学生像」に適した者を、「入学選抜の基本方針」に沿って、国内外から広く受け入れます。

求める学生像

1. 専門とする技術分野の基礎学力と工学的素養を備えている人
2. これまで修得した専門分野以外の幅広い工学分野への興味（好奇心）を持っている人
3. より高度な技術課題と先端的な理工学研究課題に取り組むことのできる基礎能力を身に付けたい人
4. 技術者として社会的責任を自覚し、他者と共同して我が国や国際社会に貢献する意欲を持った人

入学選抜の基本方針

(1) 推薦選抜

出身高等専門学校等の長が責任を持って推薦し、本専攻科への入学意欲が強い志願者のうち、「求める学生像」に適し優れた者を、面接検査と調査書により総合的に判断して受け入れる。

(2) 学力選抜

「求める学生像」に適した者を、学力検査（英語（TOEIC スコアによる換算）、数学、専門科目）と調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問含む）の結果により総合して受け入れる。

(3) 社会人特別選抜

企業などにおいて一定以上の在職期間を有し、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を受け入れる。

[2] カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 高専本科で修得した各専門の学力を基礎とし、異なる技術分野を理解して、さらに高度化・複合化した教育を行うために、英語関連科目、異なる技術分野の基礎科目、技術倫理、環境工学などの共通科目を編成する。
2. PBL 教育やインターンシップを実施し、専門が異なる他者と協働することで広い視野とコミュニケーション能力を養成する。
3. 高専本科で修得した各専門について、より専門的な科目を編成し、各専門分野での高度な技術に関する理解を深める。
4. 特別実験と特別研究を系統的に編成し、問題発見、問題解決能力を有した研究開発型技術者を育成する。

[3] ディプロマポリシー（修了認定の方針）

本更津工業高等専門学校専攻科では、各分野の深い専門性に加え、学際的領域に関する素養を有した、質の高い創造的・指導的・国際的エンジニアとして、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の学士認定資格を満たし、以下の能力を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定します。

1. 修得した各専門分野及び異なる技術分野の知識・技術をもとに、問題解決に必要な知識や技術を複合・統合的に応用できる。
2. 社会への技術の影響を配慮し、異なる専門領域を持つ国内外の人々やそれらのチームと協働して我が国や国際社会に貢献できる。
3. 自らの専門分野における工学の問題について、問題発見、創意工夫して問題解決、プレゼンテーションできる。

1967 (昭和42年)	6.	1	国立学校設置法の一部を改正する法律(昭和42年法律第18号)により、機械工学科・電気工学科・土木工学科を創設 初代校長に村上成一就任、開校式並びに第1回入学式挙行
1968 (昭和43年)	6.	15	第1期工事竣工
1969 (昭和44年)	3.	18	第2期工事竣工
1970 (昭和45年)	3.	20	第3期工事及び武道場竣工
1973 (昭和48年)	7.	1	第2代校長に渡辺哲利就任
1976 (昭和51年)	11.	20	図書館竣工
1977 (昭和52年)	11.	1	創立10周年記念式典挙行
1979 (昭和54年)	6.	16	第3代校長に西田亀久夫就任
1982 (昭和57年)	3.	1	学友会館竣工
1983 (昭和58年)	1.	31	第2体育館竣工
	4.	1	電子制御工学科新設
1984 (昭和59年)	2.	28	第2研究実験棟竣工
1985 (昭和60年)	3.	25	寄宿舎(雄峰寮)増築
	4.	2	第4代校長に関根太郎就任
1987 (昭和62年)	11.	15	創立20周年記念式典挙行
1988 (昭和63年)	3.	30	講義棟竣工
	4.	1	第5代校長に高野文雄就任
1990 (平成 2年)	4.	1	情報工学科新設
1991 (平成 3年)	7.	1	第6代校長に宮野禮一就任
1992 (平成 4年)	3.	26	第3研究実験棟竣工
1994 (平成 6年)	4.	1	土木工学科を環境都市工学科に改組
1995 (平成 7年)	4.	1	第7代校長に山田勝兵就任
1997 (平成 9年)	11.	13	創立30周年記念式典挙行
2000 (平成12年)	3.	14	女子寄宿舎棟(なのはな寮)竣工
	4.	1	電気工学科を電気電子工学科に改称
	7.	1	第8代校長に北尾美成就任
	12.	28	地域共同テクノセンター新設
2001 (平成13年)	4.	1	専攻科(機械・電子システム工学専攻、制御・情報システム工学専攻、環境建設工学専攻)設置
2002 (平成14年)	8.	1	第9代校長に小田島章就任
2003 (平成15年)	8.	29	総合教育棟竣工
2004 (平成16年)	4.	1	独立行政法人国立高等専門学校機構木更津工業高等専門学校となる
2005 (平成17年)	4.	1	第10代校長に河上恭雄就任
2006 (平成18年)	5.	8	「生産システム工学」プログラムが日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受ける
2007 (平成19年)	3.	28	平成18年度高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていると大学評価・学位授与機構によって認定される
2008 (平成20年)	10.	1	高専機構本部事務局の組織等に関する規則の改正に基づき、教育研究支援センターを設置
2010 (平成22年)	4.	1	第11代校長に工藤敏夫就任
2011 (平成23年)	5.	16	「生産システム工学」プログラムが日本技術者教育認定機構(JABEE)の継続認定を受ける
2012 (平成24年)	3.	23	女子寄宿舎(なのはな寮)増築
2014 (平成26年)	3.	26	平成25年度高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校機関別認証評価基準を満たしていると大学評価・学位授与機構によって認定される
	4.	1	第12代校長に前野一夫就任
2017 (平成29年)	3.	3	「生産システム工学」プログラムが日本技術者教育認定機構(JABEE)の継続認定を受ける
	11.	18	創立50周年記念式典挙行
2018 (平成30年)	4.	1	第13代校長に佐久間研二就任

組織

機構図



職員現員

(令和元年5月1日現在)

職名等区分		校 長	教 授	特任教授	准教授	講 師	助 教	小 計	事務職員	技術職員	合 計
現 員		1	29	1	33	4	6	74	29	14	117
男女数	男	1	28	1	29	3	6	68	18	11	97
	女		1		4	1		6	11	3	20
年齢構成	60代		6	1				7			7
	50代	1	17		3		1	22	12	3	37
	40代		6		19		1	26	9	7	42
	30代				11	4	3	18	6	3	27
	20代						1	1	2	1	4

役職名一覧

(令和元年7月1日現在)

役職名	
校長	さくま けんじ 佐久間 研二
副校長／教務主事	うちだ ひろあき 内田 洋彰
副校長／学生主事	すずき みちはる 鈴木 道治
副校長／寮務主事	せい の てつ や 清野 哲也
副校長／総務担当(国際交流センター長)	おおさわ ひろし 大澤 寛
副校長／専攻科長	うえむら しげき 上村 繁樹
副校長／地域共同テクノセンター長	すずき さとる 鈴木 聡
機械工学科主任	おだ いさお 小田 功
電気電子工学科主任 機械・電子システム工学専攻主任	うえはら まさひろ 上原 正啓
電子制御工学科主任	うす い くに ひと 臼井 邦人
情報工学科主任 制御・情報システム工学専攻主任	くりもと いくさぶろう 栗本 育三郎
環境都市工学科主任 環境建設工学専攻主任	あおき ゆうすけ 青木 優介
人文学系主任	さか た ひろみつ 坂田 洋満
基礎学系主任	やま した さとし 山下 哲

役職名	
図書館長	かとう たつひこ 加藤 達彦
ネットワーク情報センター長	まるやま まさお 丸山 真佐夫
実習工場長	いた がき たかよし 板垣 貴喜
学生相談室長	あら き ひでひこ 荒木 英彦
男女共同参画推進室長	おおさわ ひろし 大澤 寛
キャリア支援室長	いしかわ まさあき 石川 雅朗
事務部長	ことう つとむ 後藤 勉
総務課長	やざわ よしひこ 矢澤 義彦
学生課長	いとう りゅうじ 伊藤 竜治

主事補一覧

教務主事補	いわさき よういち 岩崎 洋一	かえり やま とみ はる 歸山 智治	おおく ぼ つとむ 大久保 努
学生主事補	さくま みき 佐久間 美紀	いとう ゆういち 伊藤 裕一	
寮務主事補	ふく し とみ や 福士 智哉	わか ぼ ふういち 若葉 陽一	

学級担任一覧

準学士課程

	1年	2年	3年	4年	5年
機械工学科	さこう とみひろ 佐合 智弘	か かす ゆうこ 嘉数 祐子	いた がき たかよし 板垣 貴喜	たかはし みきお 高橋 美喜男	いし で ただてる 石出 忠輝
電気電子工学科	せ がわ なおみ 瀬川 直美	しの むら とみき 篠村 朋樹	おか ちと たもつ 岡本 保	いいだ さとこ 飯田 聡子	たに い こうせい 谷井 宏成
電子制御工学科	たか や ひろ ふみ 高谷 博史	さわ ぐち よしひと 沢口 義人	こ たに としひろ 小谷 俊博	いずみ はじめ 泉 源	おお はし たろう 大橋 太郎
情報工学科	くら はし たいし 倉橋 太志	ふく ち けんいち 福地 健一	わ だ しゅうへい 和田 州平	よし ざわ ようすけ 吉澤 陽介	わた なべ こういち 渡邊 孝一
環境都市工学科	かとう たつひこ 加藤 達彦	た じま あや か 田嶋 彩香	ゆ たに けん たろう 湯谷 賢太郎	いし い たて き 石井 建樹	おに づか のぶ ひろ 鬼塚 信弘

専攻科

	1年	2年
機械・電子システム工学専攻	おだ いさお 小田 功	うえはら まさひろ 上原 正啓
制御・情報システム工学専攻	うす い くに ひと 臼井 邦人	くりもと いくさぶろう 栗本 育三郎
環境建設工学専攻	しま ざき ひろと 島崎 彦人	あおき ゆうすけ 青木 優介

キャリア支援室

役職名	
キャリア支援室長	いし かわ まさあき 石川 雅朗
キャリア支援室員	こう の ぎん すけ 黄野 銀介

組織

準学士課程

Education in the Semi-Advanced Courses

学習・教育目標

準学士課程では、教養ある社会人としての技術者の育成として、自主自立の精神と国際的視野を持ち、

- 1) 基礎学力と工学に関する基礎的な知識
- 2) 行動と実践に基づく柔軟な発想力と創造力
- 3) 倫理的・美的価値への感受性

を備え、他者と共同して社会に貢献できる問題発見・解決型の技術者をめざして、以下の4点の側面から学習・教育目標を設定しています。

1 人間形成

健康な身体と精神を培い、社会に貢献するすぐれた人間として、幅広い教養をもとに、技術者としての責任を自覚し、その使命を実行しうる技術者

- (1) 豊かな人間性と健康な心身を培う。
- (2) 深く社会について理解し、広い視野が持てるよう、豊かな教養を身につける。
- (3) 技術が自然や社会に及ぼす影響・効果を理解し、技術者としての責任を自覚する。

2 科学技術の修得

自らの専門とする科学技術についてその基礎となる理論及び原理を十分に理解し、積極的に活用しようとする技術者

- (1) 数学および自然科学の基礎知識とそれらを用いた論理的思考能力を身につける。
- (2) 専攻する学科の専門分野の知識と能力を身につける。
- (3) 実験・実習を通して、ものづくりに必要な力を身につける。

3 コミュニケーション能力

高度情報化社会に対応し、自らの考えを状況に応じて的確に表現しうる技術者

- (1) 日本語の記述能力を身につける。
- (2) 英語によるコミュニケーション基礎能力を身につける。
- (3) 情報技術を使いこなし、発表・討論ができる能力を身につける。

4 創造力

自ら工夫して新しいものを造り出す問題発見・解決型の技術者

- (1) 一般特別研究や卒業研究などを通して、修得した知識や技術をもとに創造性を発揮し、問題を発見し、解決する能力を身につける。
- (2) 他者と協力して問題解決に向けた行動力を身につける。

教育課程修了後の 主要国家試験資格等

〈全学科共通〉

1. 大学の編入学試験 受験資格

2. 国家公務員一般職 受験資格

3. 労働安全(衛生)コンサルタント 受験資格 要実務経験

一般教育の教育課程

学年	科目名	単位数
1年	国語ⅠA	2
	国語ⅠB	2
	地理A	1
	地理B	2
	美術	1
	英語ⅠA	1
	英語ⅠB	1
	英語ⅡA	1
	英語ⅡB	1
	英文法	2
	保健体育ⅠA	1
	保健体育ⅠB	1
	基礎数学Ⅰ	3
	基礎数学Ⅱ	2
	基礎数学Ⅲ	1
	基礎科学	1
	物理学Ⅰ	1
	基礎化学ⅠA	1
	基礎化学ⅠB	1
2年	国語ⅡA	1
	国語ⅡB	1
	歴史A	1
	歴史B	2
	英語ⅢA	1
	英語ⅢB	1
	英語ⅣA	1
	英語ⅣB	1
	保健体育ⅡA	1
	保健体育ⅡB	1
	線形代数ⅠA	1
	線形代数ⅠB	1
	微分積分ⅠA	2
	微分積分ⅠB	2
	物理学ⅡA	1
	物理学ⅡB	1
	化学ⅠA	1
	化学ⅠB	1
	日本文化論	1

学年	科目名	単位数
3年	国語Ⅲ	1
	現代社会A	1
	現代社会B	2
	英語ⅤA	1
	英語ⅤB	1
	ドイツ語ⅠA	1
	ドイツ語ⅠB	1
	体育ⅠA	1
	体育ⅠB	1
	線形代数Ⅱ	1
	微分積分Ⅱ	2
	微分積分Ⅲ	2
	ライフサイエンス・アースサイエンス	1
	物理学Ⅲ	1
	物理学Ⅳ	1
	化学Ⅱ	1
	一般特別セミナー	1

学年	科目名	単位数
4年	国語表現	1
	体育Ⅱ	1
	英語演習ⅠA	1
	英会話ⅠA	1
	英語演習ⅠB	1
	英会話ⅠB	1
	哲学A	2
	経済学A	2
	社会学A	2
	哲学B	2
	経済学B	2
	社会学B	2
	ドイツ語ⅡA	1
	中国語ⅠA	1
5年	ドイツ語ⅡB	1
	中国語ⅠB	1
	体育Ⅲ	1
	英語演習Ⅱ	1
	英会話Ⅱ	1
	国文学	1
	心理学	1
	法学	1
	ドイツ語ⅢA	1
	中国語ⅡA	1
	ドイツ語ⅢB	1
	中国語ⅡB	1

※平成29年度以降入学者のカリキュラムを適用

必修科目
必修選択科目
選択科目

幅広い教養と基礎力の獲得を目指します

一般教育では、幅広い教養を獲得しつつ高度な専門知識を理解するための基礎を修得する目的で、専門5学科に共通した科目を開設しています。国語・社会・外国語・保健体育などを担当する人文学系教員と数学・物理・化学などを担当する基礎学系教員で構成されています。技術者としての基本的な素養を身につけるための必修科目に加え、学生の多様な関心に応じることができるよう、多くの選択科目も開設されています。また、第3学年では学生が自主的に調査研究に取り組む一般特別セミナーを開設しています。

一般教育 General Education

人文学系 Division of Liberal Arts

達成項目

国語、社会、外国語、保健体育などの修得を通じ、心身の鍛練と並行しつつ、日本語および特に英語でのコミュニケーション能力を獲得し、国際的視野を持ち、倫理的・美的価値への感受性を育むことにより、教養ある社会人としての基礎力を身につけること。



一般特別セミナー「ウェイトトレーニング演習」



外国人教師による英語の授業

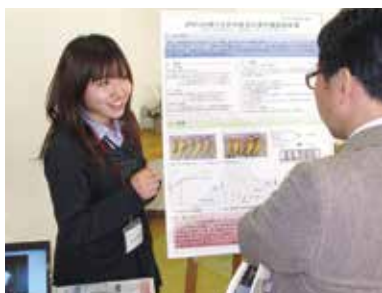


体育(バレーボール)授業風景

基礎学系 Division of Natural Science

達成項目

数学、物理学、化学等の自然科学系一般科目の基礎教育および専門基礎の知識の修得を通じ、論理的思考能力と実験・観察の技術を身につけ、最新の科学技術の基礎となる理論と原理が理解できるようになること。



一般特別セミナーでの発表



基礎科学における放射線量の計測



化学IAの授業風景

教員

人文学系

教授		担当授業科目分野	専門分野
あら き ひで ひこ 荒木英彦	文学士	英語	英語教育、ドイツ文学、水泳指導法
しの むら とも き 篠村朋樹	修士(体育学)	保健体育	コーチ学(バレーボール)
お ざわ けん じ 小澤健志	教育学修士	英語	英語教育、アメリカ自然主義文学、シェイクスピア批評史
せい の てつ や 清野哲也	体育学修士	保健体育	コーチ学(柔道)、運動生理学
しば た いく こ 柴田育子	修士(文学)	ドイツ語	ドイツ語教育、西洋思想史
さか た ひろ みつ 坂田洋満	修士(体育学)	保健体育	コーチ学(陸上)
か とう たつ ひこ 加藤達彦	博士(文学)	国語	日本近代文学、表象文化論
准教授			
せ がわ なお み 瀬川直美	修士(教育学)	英語	英語教育、英語指導法&教材論
たけ なが げん じろう 武長玄次郎	博士(経済学)	社会	経済史、イギリス農業革命、近代台湾史
い わ さき よう いち 岩崎洋一	修士(教育学)	英語	英語教育、CALL (Computer Assisted Language Learning)、英語語彙分析
こ たに とし ひろ 小谷俊博	修士(文学)	社会	倫理学
講師			
た じま あや か 田嶋彩香	博士(文学)	国語	日本近代文学
助教			
ふく し とも や 福士智哉	修士(文学)	英語	言語学(音韻論)

基礎学系

教授		担当授業科目分野	専門分野
ふく ち けん いち 福地健一	博士(工学)	物理、応用物理	蛍光計測に基づく植物生育診断
すず き みち はる 鈴木道治	理学修士	数学、応用数学	偏微分方程式論、数学教育
やま した さとし 山下哲	博士(理学)	数学、応用数学	数学教育、数式処理、位相幾何学的グラフ理論
准教授			
た どころ ゆう き 田所勇樹	博士(数理科学)	数学、応用数学	トポロジー、複素解析、リーマン面
あ べ たか ゆき 阿部孝之	博士(理学)	数学、応用数学	非圧縮性粘性流体の数学的解析、数学教育
か かず ゆう こ 嘉数祐子	博士(工学)	物理、応用物理	蛍光計測による植物生育診断、物理教育
たか や ひろ ふみ 高谷博史	博士(理学)	物理、応用物理	高エネルギー物理学実験、医学物理、物理教育
さ の てる かず 佐野照和	博士(学術)	数学、応用数学	位相幾何学的グラフ理論
さ こう とも ひろ 佐合智弘	博士(理学)	化学、応用化学	高分子科学、分光分析
さ く ま み き 佐久間美紀	博士(工学)	化学、応用化学	水環境工学、活性炭処理による水質浄化
講師			
くら はし たい し 倉橋太志	博士(学術)	数学、応用数学	数理論理学
ふく むろ こう すけ 福室康介	博士(理学)	数学、応用数学	可換環論

地球にやさしい機械づくりをめざして

機械工学におけるものづくりは、従来の「機能性・経済性の追及」から、「社会から受容される」「人間と共生できる」「地球に優しい」といった形へシフトしつつあります。

機械工学科は、ハードウェアの設計・製作に関する知識だけでなく、エレクトロニクスやコンピュータの応用も取り入れたカリキュラムによって、新しい技術開発の社会的要求に対応できる資質を有し、ものを創り出すことに意欲的な機械技術者の育成を目指しています。

Department of Mechanical Engineering



小型内燃機関の性能測定

機械工学科

卒業で得られる資格

P9. **1~3**
全学科
共通の資格



4. ボイラー・タービン主任技術者
第一種 第二種

要実務経験

5. 自動車整備士技能検定 受験資格
1級 2級 3級

要実務経験

6. 臨床工学技士 受験資格

要実務経験

7. 昇降機検査資格者

要実務経験

8. 電気工作物検査官

要実務経験

9. 建設業営業専任者

要実務経験

達成項目

材料力学・材料分野、熱流体分野、生産システム分野、計測制御分野の基礎科目に加えて、実験・実習、設計・製図・コンピュータに関する知識を習得し、ものづくりに必要な創造的設計手法を理解し、システム開発の素養を身につけること。



三次元風洞を用いた円柱まわりの静圧測定



引張試験機で厚さ5ミリの鋼板を引きちぎる

教員

教授		担当授業科目分野	専門分野
いし で ただ てる 石 出 忠 輝	博士(工学)	流体力学	流体力学、空気力学、可視化画像計測
うち だ ひろ あき 内 田 洋 彰	博士(工学)	制御工学	多脚ロボット制御、農業用ロボットの開発制御
お だ いさお 小 田 功	博士(工学)	計測工学	光応用技術の開発
特任教授			
たか はし ひで お 高 橋 秀 雄	博士(工学)	機械設計	機械要素の性能評価
准教授			
いた がき たか よし 板 垣 貴 喜	博士(工学)	機械力学	機械の振動・騒音の測定、摩擦・摩耗・潤滑
い と う ゆう いち 伊 藤 裕 一	博士(工学)	熱力学	乱流熱流体現象の数値解析技術開発とその予測
かえり やま とち はる 歸 山 智 治	博士(工学)	機構学	画像工学、人間工学
助教			
たか はし み き お 高橋美喜男	博士(工学)	図学製図	プラスチック歯車、微小金属歯車の性能評価
あお ば とち や 青 葉 知 弥	博士(工学)	材料学	材料組織制御、金属工学超伝導工学

教育課程

学年	科目名	単位数
1年	情報処理Ⅰ	1
	情報処理Ⅱ	1
	図学製図Ⅰ	1
	図学製図Ⅱ	1
	技術者入門Ⅰ	1
	技術者入門Ⅱ	1
	工学実験ⅠA	1
2年	工学実験ⅠB	1
	情報処理Ⅲ	1
	機構学Ⅰ	1
	工業力学Ⅰ	1
	工業力学Ⅱ	1
	設計製図Ⅰ	1
	電気回路	1
3年	工学実験ⅡA	1
	工学実験ⅡB	1
	製作実習Ⅰ	2
	機構学Ⅱ	2
	材料力学Ⅰ	1
	材料学Ⅰ	1
	材料学Ⅱ	2
4年	機械工作法Ⅰ	2
	設計製図Ⅱ	1
	設計製図Ⅲ	1
	計測工学Ⅰ	1
	計測工学Ⅱ	2
	工学実験ⅢA	1
	工学実験ⅢB	1
5年	製作実習Ⅱ	2
	プロジェクト実習	1
	応用数学A	2
	応用物理実験	1
	機械力学Ⅰ	2
	材料力学Ⅱ	2
	材料力学Ⅲ	2
6年	材料学Ⅲ	2
	熱力学Ⅰ	2
	熱力学Ⅱ	2
	流体力学Ⅰ	1
	流体力学Ⅱ	2
	機械工作法Ⅱ	2
	設計法Ⅰ	1
7年	設計製図Ⅳ	1
	マイコン制御	1
	電気工学演習	1
	工学実験ⅣA	1
	工学実験ⅣB	1
	製作実習Ⅲ	1
	製作実習Ⅳ	1
8年	課題研究	1
	応用数学B	2
	応用数学C	2
	学外実習	2
	機械力学Ⅱ	2
	伝熱工学	1
	流体力学Ⅲ	2
9年	設計法Ⅱ	1
	論理回路	1
	制御工学Ⅰ	2
	制御工学Ⅱ	2
	工学演習Ⅰ	1
	工学演習Ⅱ	1
	工学演習Ⅲ	1
10年	卒業研究	8
	統計学	2
	応用物理	1
	工業英語演習	1
	論文作成技法	1
	工学演習Ⅳ	1

※平成29年度以降入学者のカリキュラムを適用

必修科目 必修選択科目 選択科目

オームの法則から先端技術まで

電気電子工学科は、電気電子の基礎をはじめ電力・電機・制御・情報・通信・材料・計測など、現代の電気電子工学の全領域を網羅した総合工学科として発展しています。2年からの実験実習では少人数教育を重視し、各学年でもものづくり実習を実施しています。低学年から情報処理教育を取り入れ、高学年では技術の発展に合わせた高度な授業の中から学生の希望する科目を選択できるようにし、深い人間性と豊かな創造力、高い洞察力を育む教育を実践しています。

Department of Electrical and Electronic Engineering



三相誘導電動機の実験

電気電子工学科

卒業で得られる資格

P9. **1~3**
全学科
共通の資格



4. 電気工作物検査官

要実務経験

5. 建設業営業専任者

要実務経験

6. 電気主任技術者 第2種 第3種

要実務経験

7. 第2種電気工事士 一次試験免除

履修科目による

8. 1級電気工事施工管理技師の受験資格

要実務経験

達成項目

電子・情報通信・コンピュータ・材料・計測・制御・電気機器・エネルギーなど、現代の高度化技術社会の基礎に係わる知識を修得し、創造力が豊かで次世代の産業社会を担うことができる能力を身につけること。



プロセス制御の実験



マイクロ波に関する実験

教員

教授	担当授業科目分野	専門分野
おおさわ ひろし 大澤 寛 工学修士	パワーエレクトロニクス	パワーエレクトロニクス、DC/DC電源、太陽電池の電力変換技術
うえはら まさひろ 上原 正啓 博士(工学)	電気磁気学	電磁界理論、電磁波工学、静磁波工学
おかもと たもつ 岡本 保 博士(工学)	半導体工学	半導体物性、半導体デバイス、光計測
准教授		
かしわぎ やすひで 柏木 康秀 博士(工学)	高電圧大電流工学	沿面放電、バリア放電、マイクロギャップ放電、真空紫外光、インパルス高電圧・大電流測定
いいだ さとこ 飯田 聡子 博士(工学)	電気電子材料	磁性体を用いた磁気センサ、磁気デバイス、磁気工学
おおの たかのぶ 大野 貴信 博士(工学)	情報伝送工学	高周波フィルタやノイズ抑制シートの開発、マイクロ波・ミリ波帯における誘電率測定
あさの ようすけ 浅野 洋介 博士(工学)	制御工学	制御工学、モーションコントロール、ロボティクス、ロボットビジョン、福祉工学
たに いこうせい 谷井 宏成 博士(工学)	電子計測	マイクロ波・ミリ波無線通信用回路
助教		
わかば よういち 若葉 陽一 博士(情報工学)	プログラミング	テキスト検索、グラフ理論、デジタル回路設計

教育課程

学年	科目名	単位数
1年	技術者入門Ⅰ	1
	技術者入門Ⅱ	1
	電気電子工学入門	1
	情報リテラシー	1
	プログラミングⅠ	1
	デジタル回路Ⅰ	1
	電気電子製図Ⅰ	1
2年	工学基礎演習Ⅰ	1
	電気磁気学ⅠA	1
	電気磁気学ⅠB	1
	電気回路ⅠA	1
	電気回路ⅠB	1
	プログラミングⅡ	1
	実験実習ⅠA	2
3年	実験実習ⅠB	2
	工学基礎演習Ⅱ	1
	電気磁気学ⅡA	1
	電気磁気学ⅡB	1
	電気回路ⅡA	1
	電気回路ⅡB	1
	電子工学Ⅰ	1
	電子工学Ⅱ	1
	デジタル回路Ⅱ	1
	組み込みプログラミング	1
	実験実習ⅡA	2
	実験実習ⅡB	2
	機械工作実習	1
	プロジェクト実習	1
4年	応用物理実験	1
	電気磁気学ⅢA	2
	電気磁気学ⅢB	2
	電気回路ⅢA	2
	電気回路ⅢB	2
	電子回路Ⅰ	2
	電子回路Ⅱ	2
	電気機器Ⅰ	2
	電気機器Ⅱ	2
	制御工学	2
	実験実習ⅢA	2
	実験実習ⅢB	2
	課題研究	2
	応用数学A	2
	応用数学C	2
	工業英語	2
	情報伝送工学	2
	学外実習	2
5年	電子計測	2
	電力工学Ⅰ	2
	卒業研究	8
	統計学	2
	応用数学B	2
	応用物理	1
	電気電子材料	1
	高電圧大電流工学	1
	パワーエレクトロニクス	1
	情報ネットワーク	1
	ロボット制御	1
	情報通信	2
	半導体工学	2
	電力工学Ⅱ	2
	電気電子製図Ⅱ	1
	電気法規	1

※平成29年度以降入学者のカリキュラムを適用

必修科目 必修選択科目 選択科目

分野をつなぐ制御の技術で新たな価値を創り出す

現在の社会では、身近な家庭電化製品や自動車から航空宇宙機器、生産製造現場、交通システムに至るまで、制御技術によって安全や省エネなどの付加価値が実現されています。電子制御工学科では、さまざまな分野の機器や技術を統合して扱うための制御工学を核として、電気電子工学・機械工学・情報工学それぞれの基礎領域についての幅広い教育を実施しています。教員の専門分野や卒業研究等のテーマも多岐にわたっており、さまざまな分野において次世代の科学技術を担える創造性豊かな技術者の育成を目指しています。

Department of Control Engineering



シーケンス制御に関する実験

電子制御工学科

卒業で得られる資格

P9. **1~3**
全学科
共通の資格



学科内ロボットコンテストによる創造性教育

達成項目

制御工学を中心として、電気工学、電子工学、機械工学、情報処理工学、計算機工学などの基礎工学に関する幅広い知識を修得し、制御システムに関する設計や問題解決に対応できる能力を身につけること。



車輪移動ロボットのプログラミング



上級生ピアサポートによる電子工作実習

教員

教授	担当授業科目分野	専門分野
鈴木 聡 博士(工学)	電子工学	半導体物性、マイコンによる計測・制御
臼井 邦人 工学修士	情報工学	教育工学、情報通信工学
大橋 太郎 博士(工学)	計測工学	制御工学、各種センサを用いた自動計測と制御、機械動力学
准教授		
泉 源 博士(工学)	電子回路	アンテナ設計・評価、電磁界解析
岡本 峰基 博士(工学)	制御工学	制御工学、振動工学
坂元 周作 博士(工学)	電磁気学	計測工学、超電導工学
沢口 義人 博士(工学)	電子計算機	生体計測、信号処理、制御工学
関口 明生 博士(工学)	制御機器	メカトロニクス、制御工学、塑性加工
助教		
奥山 彫夢 博士(工学)	材料力学	材料力学、計算力学

教育課程

学年	科目名	単位数
1年	機械制御入門Ⅰ	1
	機械制御入門Ⅱ	1
	電子計算機Ⅰ	1
	計算機演習	1
	技術者入門Ⅰ	1
	技術者入門Ⅱ	1
2年	製図Ⅰ	1
	製図Ⅱ	1
	電磁気学Ⅰ	1
	電気回路Ⅰ	1
	電子計算機Ⅱ	1
	電子計算機Ⅲ	1
	プログラミング技法Ⅰ	1
	プログラミング技法Ⅱ	1
	実験実習Ⅰ	1
	実験実習Ⅱ	1
3年	工業力学	1
	機械力学	1
	電磁気学Ⅱ	1
	電磁気学Ⅲ	1
	電気回路Ⅱ	1
	電気回路Ⅲ	1
	電子工学Ⅰ	1
	電子工学Ⅱ	1
	計測工学Ⅰ	1
	計測工学Ⅱ	1
	実験実習Ⅲ	2
	実験実習Ⅳ	2
	プロジェクト実習	1
4年	応用物理実験	1
	材料力学Ⅰ	2
	材料力学Ⅱ	2
	機械設計工学Ⅰ	2
	電子回路Ⅰ	2
	電子回路Ⅱ	2
	情報処理Ⅰ	2
	情報処理Ⅱ	2
	制御工学Ⅰ	2
	制御工学Ⅱ	2
	工業英語演習	1
	実験実習Ⅴ	2
	課題研究	2
	応用数学A	2
	応用数学B	2
	応用数学C	2
	電磁気学Ⅳ	1
	電気回路Ⅳ	1
	電子工学Ⅲ	1
	電子工学Ⅳ	1
5年	学外実習	2
	統計学	2
	材料力学Ⅲ	2
	機械設計工学Ⅱ	2
	電子回路Ⅲ	2
	情報工学	2
	制御工学Ⅲ	2
	制御工学Ⅳ	2
	制御機器	2
	卒業研究	8
	応用物理	1
	流体力学	1
	熱力学	1
	電子回路Ⅳ	1
	計算機制御工学	1
	ロボット工学Ⅰ	1
	ロボット工学Ⅱ	1
	システム工学	1

※平成29年度以降入学者のカリキュラムを適用

必修科目 必修選択科目 選択科目

次世代の情報システムを創造する技術者育成

情報工学科では、情報を処理する計算機システム、情報を伝送する通信システム、情報を用いて制御する制御システムなどの情報システムの構築及び利用に関する専門知識や技術の修得を目的としています。すなわち、計算機ハードウェア、ソフトウェア工学、情報ネットワークなどの基礎分野を修得するとともに、計算機インターフェース、知能システム、信号処理などの計算機応用工学を学んでいます。

本学科は、ハードウェアとソフトウェアの両方に習熟し、あらゆる技術分野にて活躍できるコンピュータ技術者の育成を目指しています。

Department of Information and Computer Engineering

情報工学科



実験実習 (ライトレーザ)

卒業で得られる資格

P9. **1~3**
全学科
共通の資格



グループワークに適した演習環境



プログラミング演習 (暗号解読)



熱心かつ懇切丁寧な説明 (情報セキュリティ)

達成項目

情報処理の基本技術である計算機ハードウェアとソフトウェア技術を中心に、インターフェース技術・情報通信技術・制御技術などの関連分野に関する知識を修得し、総合的な情報処理システムの知識を身につけること。



実験実習(マイコン実習)



プログラミング演習(C言語)

教員

教授	担当授業科目分野	専門分野
くりもといくさぶろう 栗本育三郎	博士(情報理工学)	計算機 インターフェース
		近赤外分光法を用いた 脳機能信号解析、 ヒューマンインターフェース
わ さき ひろ ゆき 和 崎 浩 幸	博士(工学)	画像情報システム
		画像処理
わ だ しゅう へい 和 田 州 平	博士(理学)	情報数学
		ヒルベルト空間上の有界線形 作用素論
まるやま まさお 丸山真佐夫	博士(工学)	言語処理系
		並列プログラムのデバッグ、 囲碁対局システム
准教授		
さい とう やす ゆき 齋 藤 康 之	博士(情報科学)	工業英語演習
		音楽情報処理、パターン情報解析
よね むら けい いち 米 村 恵 一	博士(工学)	データ構造 アルゴリズム
		情報セキュリティ、 情報セキュリティ心理学
おお えだ しん いち 大 枝 真 一	博士(工学)	知能システム
		機械学習、データマイニング、 ニューラルネットワーク
わた なべ こう いち 渡 邊 孝 一	博士 (情報理工学)	コンピュータ アーキテクチャ
		テレインジスタンスシステム、 植物工場の環境制御
よし ざわ よう すけ 吉 澤 陽 介	博士(工学)	論理回路
		視覚伝達デザイン、色彩学、 デザイン工学
サブコタ SAPKOTA アチユタ ACHYUT	博士(工学)	信号処理工学
		生体情報処理

教育課程

学年	科目名	単位数
1年	コンピュータ入門Ⅰ	1
	コンピュータ入門Ⅱ	1
	コンピュータ演習Ⅰ	1
	コンピュータ演習Ⅱ	1
	技術者入門Ⅰ	1
	技術者入門Ⅱ	1
	実験・実習ⅠA	1
	実験・実習ⅠB	1
2年	プログラミング基礎Ⅰ	1
	プログラミング基礎Ⅱ	1
	プログラミング演習ⅠA	1
	プログラミング演習ⅠB	1
	電気回路Ⅰ	1
	電気回路Ⅱ	1
	論理回路Ⅰ	1
	論理回路Ⅱ	1
	実験・実習ⅡA	1
	実験・実習ⅡB	1
3年	ネットワーク演習	1
	データ構造とアルゴリズムⅠ	1
	データ構造とアルゴリズムⅡ	1
	プログラミング演習ⅡA	1
	プログラミング演習ⅡB	1
	情報数学Ⅰ	1
	情報数学Ⅱ	1
	ネットワーク入門Ⅰ	1
	ネットワーク入門Ⅱ	1
	コンピュータアーキテクチャⅠ	1
	コンピュータアーキテクチャⅡ	1
	実験・実習ⅢA	1
	実験・実習ⅢB	1
4年	プロジェクト実習	1
	コンピュータアーキテクチャⅢ	1
	インターフェース回路	1
	プログラミング言語Ⅰ	2
	プログラミング言語Ⅱ	2
	言語処理系Ⅰ	2
	言語処理系Ⅱ	2
	オペレーティングシステムⅠ	2
	オペレーティングシステムⅡ	2
	計算機インターフェースⅠ	2
	計算機インターフェースⅡ	2
	情報セキュリティⅠ	2
	情報セキュリティⅡ	2
	プレゼンテーション技法	1
	プログラミング演習ⅢA	1
	プログラミング演習ⅢB	1
	実験・実習Ⅳ	1
	工業英語	1
	課題研究	2
	応用数学A	2
5年	応用数学B	2
	統計学	2
	学外実習	2
	数値計算	2
	ソフトウェア設計Ⅰ	2
	ソフトウェア設計Ⅱ	2
	情報理論Ⅰ	1
	情報理論Ⅱ	1
	ネットワークシステムⅠ	2
	ネットワークシステムⅡ	2
	卒業研究	8
	画像情報システム	1
	知能システム	1
	制御情報システム	1
	分散情報システム	1
	信号処理工学	1
	認知科学	1
	データマイニング	1
	バイオインフォマティクス	1
	メディアデザイン	1
	計測システム	1

※平成29年度以降入学者のカリキュラムを適用

必修科目 必修選択科目 選択科目

地球をデザインする

環境都市工学は従来の土木工学を基本とし、これに都市に関連した問題や環境との調和の問題を取り入れた分野です。

土木工学は、橋、道路、公園など産業の発展や、市民生活の基本となる公共施設の充実に貢献してきましたが、経済の高度な発展に伴い、都市や環境の問題がクローズアップされています。そこで当学科では公共施設の設計や建設にあたり、安全性や景観・環境の維持などの幅広い視点を持った技術者の育成を目標にしています。

Department of Civil Engineering



環境工学実験

環境都市工学科

卒業で
得られる資格

P9. 1~3
全学科
共通の資格



4. 電気工作物検査官

要実務経験

5. 建設業営業専任者

要実務経験

6. 第1種ダム水路主任技術者

要実務経験

7. 第2種ダム水路主任技術者

卒業後3年以上

8. 土木施工管理技士 受験資格
1級・2級

要実務経験

9. ダム管理主任技術者

要実務経験

10. 測量士

要実務経験

11. 測量士補 試験免除

卒業後申請

12. 公共下水道の維持管理を行う
資格

要実務経験

13. 公共下水道の設計又は工事の
監督管理を行う資格

要実務経験

達成項目

構造力学、水理学、土質力学、測量学、情報処理等の基礎科目に加え、生態環境工学、水環境工学等の環境工学に関する知識を修得し、自然環境の保全や安全で快適な都市の創成などの要望に応える能力を身につけること。



土質実験



測量実習

教員

教授	担当授業科目分野	専門分野
いし かわ まさ あき 石川 雅 朗	博士(水産学)	水理学
うえ むら しげ き 上 村 繁 樹	博士(工学)	衛生工学
おに づか のぶ ひろ 鬼塚 信 弘	博士(工学)	土質力学
しま ざき ひろ と 島 崎 彦 人	博士(工学)	防災工学
あお き ゆう すけ 青 木 優 介	博士(工学)	鉄筋コンクリート工学
准教授		
いし い たて き 石 井 建 樹	博士(工学)	構造力学
ゆ た に けん た ろう 湯谷賢太郎	博士(学術)	水域システム工学
おお く ぼ つとむ 大 久 保 努	博士(工学)	水環境工学
講師		
あ ぶ かわ かす き 虻 川 和 紀	博士(環境)	水理学
助教		
はら だ けん じ 原 田 健 二	博士(工学)	構造力学

教育課程

学年	科目名	単位数
1年	環境都市工学概論Ⅰ	1
	技術者入門Ⅰ	1
	技術者入門Ⅱ	1
	情報処理入門	1
	測量学Ⅰ	1
	力学基礎	1
2年	環境都市工学概論Ⅱ	1
	測量学Ⅱ	1
	測量学Ⅲ	1
	構造力学Ⅰ	1
	構造力学Ⅱ	1
	建設材料学	1
	材料実験	2
	測量実習A	1
3年	測量実習B	1
	プログラミング演習	1
	測量学Ⅳ	1
	土木総合学習Ⅰ	1
	水理学Ⅰ	1
	水理学Ⅱ	1
	土質力学Ⅰ	1
	土質力学Ⅱ	1
	コンクリート構造学Ⅰ	1
	コンクリート構造学Ⅱ	2
	環境概論	1
	上下水道工学Ⅰ	2
	水環境工学	1
	測量実習C	1
4年	プロジェクト実習	1
	水資源工学	2
	応用物理	1
	構造力学Ⅲ	2
	構造力学Ⅳ	2
	水理学Ⅲ	2
	水理学Ⅳ	2
	土質力学Ⅲ	2
	土質力学Ⅳ	2
	コンクリート構造設計学	2
	上下水道工学Ⅱ	2
	水域システム工学	2
	コンクリート構造設計製図	2
	土木総合学習Ⅱ	1
	防災工学	2
	水理実験	2
	土質実験	2
	応用物理実験	1
	課題研究	1
	応用数学A	2
5年	応用数学B	2
	応用数学C	2
	学外実習	2
	統計学	2
	環境統計学	2
	土木英語演習	1
	卒業研究Ⅰ	2
	卒業研究Ⅱ	6
	環境工学実験	2
	構造工学実験	2
	土木総合学習Ⅲ	1
	生態環境工学	1
	計算工学	1
	建設プロジェクト実践	1
	橋構造	1
	耐震構造	1
	プレストレストコンクリート工学	1
	環境管理手法	2
	空間情報工学	2

※平成29年度以降入学者のカリキュラムを適用

必修科目 必修選択科目 選択科目

専攻科

専攻科は、従来の5年間の高専教育の上にさらに2年間のより高度の教育を行うことを目的に平成13年4月に設立されました。専攻科において、所定の単位を修得し、大学改革支援・学位授与機構に科目履修計画書と成果の要旨を提出し、審査に合格すると、大学学部卒業者と同様に学士（工学）の学位が取得できます。また大学院に進学もできます。本校専攻科には、機械・電子システム工学専攻、制御・情報システム工学専攻、環境建設工学専攻があります。

Advanced Engineering Courses

学習・教育目標

専攻科課程では、自らがよって立つ所の深い専門性に加え、学際的領域に関する素養と国際化に対応できる能力を身につけた、質の高い実践的技術者の育成として自主自立の精神と国際的視野を持ち、

- 1) 複合領域の知識を結び付ける研究・開発能力
- 2) 国際化や高度情報化に柔軟に対応できる基礎能力
- 3) 技術者としての社会的責任と倫理の自覚

を備え、他者と共同して社会に貢献できる開発研究型の技術者をめざして、以下の4点の側面から学習・教育目標を設定しています。

1 人間形成

健康な身体と精神を培い、社会に貢献するすぐれた人間として、幅広い教養をもとに、技術者としての責任を自覚し、その使命を実行しうる技術者。

- (1) 豊かな人間性と健康な心身を培う。
- (2) 技術が自然や社会に及ぼす影響・効果を理解し、技術者としての責任を自覚する。

2 科学技術の修得と応用

自らの専門とする科学技術についてその基礎となる理論および原理を十分に理解し、境界領域にもすすんで活躍しうる技術者。

- (1) 数学および自然科学の基礎知識とそれらを用いた論理的思考能力を身につける。
- (2) 最も得意とする専門分野の知識と能力を身につける。
- (3) 異なる技術分野を理解し、得意とする専門分野の知識と複合する能力を身につける。
- (4) 実験・実習を通して実践的技術を身につける。

3 コミュニケーション能力

国際化および高度情報化社会に柔軟に対応し、自らの考えを状況に応じて的確に表現しうる技術者。

- (1) 日本語の記述能力を身につける。
- (2) 情報技術を使いこなし、日本語による発表・討論ができる能力を身につける。
- (3) 国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける。

4 創造力(デザイン能力)

自ら工夫して新しいものを造り出す研究開発型の技術者。
専攻科特別研究などを通して次の能力を身につける。

- (1) 問題解決のために修得した専門知識を応用できること。
- (2) 創意工夫し問題解決のための計画の立案・実行、得られた結果の考察および整理ができること。
- (3) リーダーシップを発揮しながら他のメンバーと協力して、問題解決に向けた実践的な行動をとれること。



東京大学生産技術研究所見学

機械・電子システム工学 専攻

達成項目

機械工学と電気電子のそれぞれの分野に高い技術力と、両方の専門分野を融合した柔軟性のある能力を身につけ、先端技術に対応した研究開発ができること。

機械・電子システム工学専攻 教育課程

学年	科目名	単位数
1年	英語総合	2
	人間と文化	2
	ドイツ語演習Ⅰ	1
	ドイツ語演習Ⅱ	1
	技術英語Ⅰ	2
	材料力学通論	2
	コンピュータ科学	2
	問題解決技法	1
	応用数学特論	2
	応用物理特論	2
	応用化学特論	2
	環境工学通論	2
	回路工学	2
	材料学通論	2
	インターンシップ	2
	特別研究Ⅰ	6
	特別実験	2
	特別演習Ⅰ	2
	生産工学	2
	トライボロジー	2
	高周波回路工学	2
2年	電磁波工学	2
	エネルギー工学	2
	現代文明	2
	技術倫理	2
	技術英語Ⅱ	2
	地震防災工学通論	2
	環境化学特論	2
	創造設計工学	2
	磁性材料工学	2
	技術論	1
	特別研究Ⅱ	8
	特別演習Ⅱ	2
	システム制御工学	2
	可視化情報工学	2
	オプトメカトロニクス工学	2
	半導体物性	2
	電気機械エネルギー変換工学	2

制御・情報システム工学 専攻

達成項目

情報処理技術を基礎として、意思決定技術、ソフトウェア技術、通信技術、制御技術やメカトロニクス技術に関する技術を修得し、創造的、実践的な制御システム・情報システムの研究開発ができること。

制御・情報システム工学専攻 教育課程

学年	科目名	単位数
1年	英語総合	2
	人間と文化	2
	ドイツ語演習Ⅰ	1
	ドイツ語演習Ⅱ	1
	技術英語Ⅰ	2
	材料力学通論	2
	コンピュータ科学	2
	問題解決技法	1
	応用数学特論	2
	応用物理特論	2
	応用化学特論	2
	環境工学通論	2
	回路工学	2
	材料学通論	2
	インターンシップ	2
	特別研究Ⅰ	6
	特別実験	2
	特別演習Ⅰ	2
	半導体デバイス	2
	学習制御	2
	数値解析基礎論	2
2年	ソフトウェア工学	2
	ヒューマンインターフェース	2
	現代文明	2
	技術倫理	2
	技術英語Ⅱ	2
	地震防災工学通論	2
	環境化学特論	2
	創造設計工学	2
	磁性材料工学	2
	技術論	1
	特別研究Ⅱ	8
	特別演習Ⅱ	2
	システム制御	2
	通信工学	2
	集積回路工学	2
	情報通信工学	2
	数理モデリング	2

環境建設工学専攻

達成項目

社会的に深刻となっている環境や都市などの高度で広域化した問題に柔軟に対応できる思考力と創造力を身につけ、これらの問題に対応した研究開発ができること。

環境建設工学専攻 教育課程

学年	科目名	単位数
1年	英語総合	2
	人間と文化	2
	ドイツ語演習Ⅰ	1
	ドイツ語演習Ⅱ	1
	技術英語Ⅰ	2
	材料力学通論	2
	コンピュータ科学	2
	問題解決技法	1
	応用数学特論	2
	応用物理特論	2
	応用化学特論	2
	環境工学通論	2
	回路工学	2
	材料学通論	2
	インターンシップ	2
	特別研究Ⅰ	6
	特別実験	2
	特別演習Ⅰ	2
	環境生物工学	2
	構造数値解析学	2
	応用構造工学	2
2年	環境情報・保全工学	2
	現代文明	2
	技術倫理	2
	技術英語Ⅱ	2
	地震防災工学通論	2
	環境化学特論	2
	創造設計工学	2
	磁性材料工学	2
	技術論	1
	特別研究Ⅱ	8
	特別演習Ⅱ	2
	環境工学特論	2
	応用材料工学	2
	応用地盤工学	2

専攻科

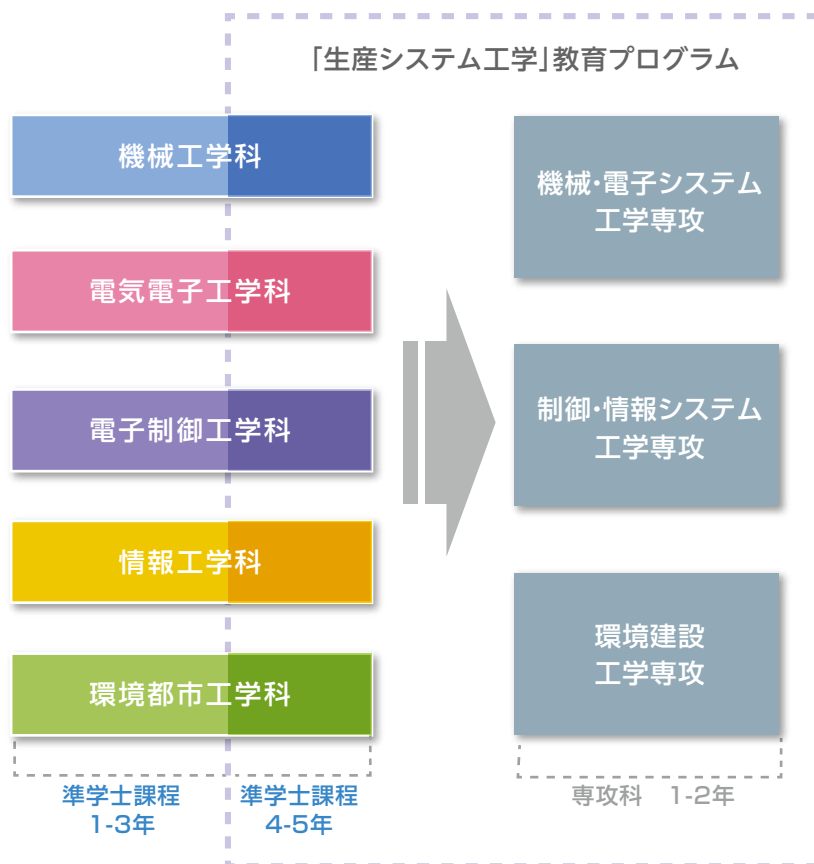
一般科目	必修科目
専門共通科目	必修選択科目
専門専攻科目	選択科目

JABEE基準に対応した 「生産システム工学」教育プログラム

「生産システム工学」教育プログラム

今日、人およびものが国境を越えて移動し、ものづくりに対する社会のニーズは多様化しています。これら生産システムに関する諸問題を発見し、複合領域の知識により解決し、国際化に対応する能力を備えた技術者が求められています。これに応えるために、本校では、準学士課程4年次から専攻科2年次まで4年間一貫の「生産システム工学」教育プログラムを設定し、国際化に対応した技術者教育を行っています。

本教育プログラムは、最も得意とする専門分野の知識と能力を身につけ、さらに異なる技術分野を理解し、両分野の知識を複合させる能力を身につけることを目的としています。



教育プログラムの学習・教育到達目標

A 人間形成

健康な身体と精神を培い、社会に貢献するすぐれた人間として、幅広い教養をもとに、技術者としての責任を自覚し、その使命を実行しうる技術者。

B 科学技術の修得と応用

自らの専門とする科学技術についてその基礎となる理論および原理を十分に理解し、境界領域にもすすんで活躍しうる技術者。

C コミュニケーション能力

国際化および高度情報化社会に柔軟に対応し、自らの考えを状況に応じて的確に表現しうる技術者。

D 創造力（デザイン能力）

自ら工夫し、また他者と協調して新しいものを造り出す研究開発型の技術者。

連携協定等締結先一覧

本校では国内外の大学や学術機関、自治体など、学外機関との連携を積極的に進め、地域の発展や国際的に活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

国内

協定先	締結日(更新日)	協定内容	備考
山形大学工学部	平成21年3月4日	教育研究交流に関する協定	
千葉大学	平成22年2月16日	教育・研究・社会貢献活動に関する包括協定	
北陸先端科学技術大学院大学	(平成26年12月8日)	推薦入学に関する協定	平成17年度締結
木更津市	平成27年2月6日	包括的な連携に関する協定	
千葉工業大学	平成27年2月24日	包括的な連携に関する協定	
千葉大学大学院工学研究科・工学部	平成27年3月24日	教育研究交流に関する協定	
早稲田大学大学院情報生産システム研究科	(平成27年5月26日)	推薦入学に関する覚書	平成17年度締結
木更津市教育委員会	平成27年7月6日	連携協力に関する協定	
株式会社 千葉銀行	平成27年10月27日	連携協力に関する協定	
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科	平成27年11月10日	包括的な連携に関する協定	
情報セキュリティ大学院大学	平成28年3月10日	包括的な連携に関する協定	
千葉県警察・中小企業支援機関・学術機関	平成28年7月28日	サイバーセキュリティに関する相互協力協定書	
清和大学及び清和大学短期大学部	平成29年7月7日	包括的な連携に関する協定	
公益財団法人千葉市産業振興財団	平成29年9月12日	産学連携協定に関する協定	
千葉県立木更津高等学校	平成29年12月13日	連携協力・教育交流に関する協定	
東京工業大学	平成31年2月27日	教育研究交流に関する協定	

国外

協定先(国名)	締結日(更新日)	協定内容	備考
国立聯合大学(台湾)	平成18年12月13日	教育研究活動の相互交流に関する協定	
ゲーテ・インスティトゥート(ドイツ文化センター)(ドイツ)	(平成30年1月15日)	パートナー協定	平成20年度締結
王立スルタン・アラム・シャー校(マレーシア)	平成26年9月17日	連携交流協定	
ナンヤンポリテクニク(シンガポール)	(平成30年8月1日)	連携交流協定	平成27年度締結
ハインリヒ・ヘルツ工科大学(ドイツ)	平成27年9月28日	パートナー協定	
リパブリック・ポリテクニク(シンガポール)	平成28年9月20日	連携交流協定	
パンчевォ機械工学校(セルビア)	平成28年12月13日	連携交流協定	
トリブバン大学工学院(ネパール)	平成29年3月17日	連携交流協定	
中臺科技大学(台湾)	平成29年4月17日	連携交流協定	
国立勤益科技大学(台湾)	平成29年4月17日	連携交流協定	
仁済大学校デザイン工学科(大韓民国)	平成30年3月20日	連携交流協定	
アイデアツ・インスティトゥート(オーストリア)	平成30年3月29日	連携交流協定	
マンドレー工科大学(ミャンマー)	平成31年3月19日	連携交流協定	

国際交流

国際交流センター

本校では、世界各国の教育機関との交流を通じて本校の教育の充実を図る目的で、国際交流センターを設置しています。

国際交流センターでは、

＊ 海外教育機関との連携 ＊ 学生の海外研修の企画立案 ＊ 留学生への支援
などを行っており、さまざまな国際交流の場を提供しています。

なお、海外からの3年次編入留学生と協定に基づく短期留学生特別聴講学生が日本の学生と一緒に学んでいます。

海外機関との連携

○ドイツとの交流

ドイツ政府の推進する「PASCHプログラム」に、日本の学校として初めて参加し、様々な行事に参加しています。また、デュッセルドルフのハインリッヒ・ヘルツ工科専門学校 (Heirich-Hertz-Berufskolleg) と交流を実施しており、隔年で1～2週間程度の派遣と受け入れを行っています。



PASCH10周年記念パーティ©Yota_Kataoka

・ PASCH校ドイツ語青少年コース

毎年8月にドイツで行われるドイツ語研修(3週間)に参加しています。

・ PASCH校国際ドイツ語キャンプ (アジア地区)

アジア諸国からドイツ語を学ぶ学生が集い、ドイツ語で交流する行事に参加しています。

○オーストリアとの交流

ウィーンのイデアツ・インスティトゥートと交流を実施しており、冬季に2週間程度の派遣を行っています。



冬季ウィーン研修

○セルビアとの交流

パンчевォ機械工科学校と交流を実施しており、隔年で1週間程度の派遣と受け入れを行っています。



セルビア研修

○台湾との交流

国立聯合大学と交流を実施しており、毎年2～3週間程度の派遣(年2回)と受け入れ(年1回)を行っています。



台湾国立聯合大学短期研修

○シンガポールとの交流

ナンヤンポリテクニク (Nanyang Polytechnic) 及びリパブリックポリテクニク (Republic Polytechnic) との交流を実施しており、夏に1ヶ月程度の派遣と秋に3ヶ月～5ヶ月程度の受け入れを行っています。



シンガポール特別聴講学生受入



マレーシア英語研修

○マレーシアとの交流

スルタン・アラム・シャー校 (Sekolah Sultan Alam Shah) と交流を実施しており、1～2週間程度の派遣と受け入れを行っています。また、マレーシア英語研修も実施しています。

派遣留学生のための奨学金等

1. (独)日本学生支援機構の海外留学支援制度(短期派遣)
2. 国際交流支援基金からの経費補助

主な国際交流行事と派遣学生数

行 事	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ドイツ派遣(ドイツ語青少年コース)	3	2	2	2	2
アジア国際ドイツ語キャンプ	3	1	1	2	
冬季ドイツ研修(ハインリッヒ・ヘルツ工科専門学校)		8		6	
セルビア研修(パンчевヴォ機械工科学校)				6	
冬季ウィーン研修(イデアツ・インスティトゥート)					6
台湾国立聯合大学短期研修	12	16	14	10	11
シンガポール研修	4	5	9	5	9
次世代科学者キャンプ(マレーシア)	5	4			
マレーシア英語研修				19	7
その他シンポジウム等	11	1	3	6	7

編入留学生との交流

○留学生・チューター交流会

新入留学生の歓迎会を兼ねた潮干狩りやバスケットボール大会を実施しています。

○学生寮での共同生活で異文化交流

本校の留学生は、原則全員学生寮に入寮します。そこでの生活を通じて、お互いの文化に触れられるようにしています。また、学生寮で行われる様々な行事では、留学生も一緒に参加し、交流を深めています。



新入留学生歓迎レクリエーション大会

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンターは、産学連携・地域連携の拠点として平成13年に竣工しました。技術相談室、共同測定室、公募式実験室を備えています。

また運営委員会を中心に全学をあげてさまざまな地域連携・産学連携の活動を展開しています。

○産学協働による教育

様々な課題を企業から提供いただき、本校のPBL型授業の中で解決に取り組むことによって総合的問題解決能力を育成しています。



地域共同テクノセンター

○産学が学び合う講演会

本校のサポーター組織である技術振興交流会に協力する形で年2回のフォーラムを開催し、ユニークな経営や研究を勉強する場を提供しています。



共同測定室



少人数のPBL学習



テクノフォーラム

○公開講座【平成30年度】

地域の方を対象として専門的な知識をわかりやすく解説する講座を開いています。

(名)

講座名	対象者	参加人数
柔道ってどんなもの？	小学生	17
LEDランタンを作ろう	小学4年生～中学生	10
夏休みこども工作教室	小学4年生～小学6年生	20
移動ロボット製作	小学5年生～中学2年生	13
光の残像でメッセージを伝えよう	小学3年生～中学生	10
電子オルガンを作ろう！	小学3年生～中学生	9
金属探知機を作って大きな宝探し!!	小学3年生～中学生	12
レゴロボットを作ろう！	小学生	20
くるくるクリスマスツリーを作ろう！	小中学生	15
子供パソコン講座	小中学生	19

○初等中等教育連携【平成30年度】

近隣小中学校への出前授業および小中学校教員研修会を通して初等中等教育連携に協力しています。(名)

テーマ・内容	出前先	参加人数
陸上競技教室～種目別指導(走種目、リレー、ハードル、走幅跳など)～	木更津市立木更津第一小学校	25
陸上競技教室～速く走るコツ～	木更津市立木更津第一小学校	160
陸上競技教室～速く走るコツ～	木更津市立祇園小学校	70
陸上競技教室～速く走るコツ～	木更津市教育委員会	151
陸上競技教室基礎編～速く走るコツ～	木更津市立第一中学校	40
陸上競技教室～種目別指導(走種目、リレー、ハードル、走幅跳など)～	木更津市立祇園小学校/木更津市立清見台小学校	85
陸上競技教室～種目別指導(走種目、リレー、ハードル、走幅跳など)～	木更津市立第一中学校	40
陸上競技教室基礎編～速く走るコツ～	木更津市少年サッカー連盟	50
桜井PBR(ペットボトルロケット)工房	木更津市立桜井公民館	24
鉛筆オルガンで音を鳴らしてみよう!	袖ヶ浦市民会館	19
スライム電池	君津市役所	14
コンクリートでモアイ人形をつくってみよう!	はまぎん子ども宇宙科学館	60
第7回キッズパレットわくわくサイエンス「低温の世界、偏光板のステンドグラス」	NPO法人キッズパレット	160
いちばら ものづくりフェスタ(金属探知機の製作)	市原市役所	20
親子でコンクリートをつくってみよう!	袖ヶ浦市立平川公民館	38
金属探知機を作って宝探し	木更津市立鎌足公民館	12
キッズわくわくチャレンジ教室(ペットボトルロケット、偏光板ステンドグラス万華鏡)	木更津市立清見台公民館	24
えんぴつオルガンで音を鳴らしてみよう!(中郷こども科学教室)	木更津市立中郷公民館	15
太陽電池の仕組みとエネルギー変換	千葉県立木更津高等学校	9
折り紙一刀切りに挑戦	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	37
ネットワークの数理	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	32
テレイドスコープ製作と光演示実験	木更津市立第一中学校	120
偏光板ステンドグラス万華鏡の作成と科学実験ショー	木更津市立清見台公民館	13
陸上競技教室～速く走るコツ～	木更津市教育委員会	67
光の性質 ものづくり「ビー玉万華鏡の製作」	木更津市まなび支援センター	5

○木更津高専キッズ・サイエンス・フェスティバル【平成30年度】

平成30年8月10日(金)に本校と木更津商工会議所の2会場に分けて、キッズ・サイエンス・フェスティバル2018を開催しました。これは技術振興交流会の助成により、夏休みの小学生に科学工作を体験してもらうイベントです。本年は木更津法人会との共催で、本校教職員による講座に加え、法人会会員による講座や展示もあり大好評でした。469名が参加しました。

【高専会場】

- 手作りスピーカーの製作
- 金属探知機を作って宝探し!!
- 君にも作れる防犯センサー
- 電子オルゴールをつくろう!
- 作って確かめる多面体の不思議
- こどもプログラミング教室
- コンクリートモアイ像をつくってみよう
- しゃべる(音が出る)おもちゃをつくろう
- こどもコマ大戦木更津高専KSF場所
- とことん壊して分別してみよう!
- こどもコマ大戦コマを作ってみよう!

【商工会議所会場】

- おもしろサイエンス/ネオジウム磁石発電機を作ろう!
- 鉛筆オルガンをつくろう
- 染物屋さん教室～タイダイ染め～
- お花屋さん教室～フラワーアレンジメント～
- タクシードライバートレーニング体験
- ウィルチェアラグビー紹介
- カスタムカー展示
- はたらくクルマ展示
- 高専ロボコンのロボットの展示と操作体験



主要施設等

教育研究支援センター

教育研究支援センターは教務主事(教員)を長として非常勤職員を含む16名の技術職員で構成され、各学科の実験・実習の技術指導や、教員、学生への教育研究支援活動を行っています。公開講座などの学外向け講座の開催や企業との共同研究、各種性能試験の受託などの地域貢献事業も行なっています。また、全国高専技術教育研究発表会の開催や各種研修会への参加、科学研究費補助金(奨励研究)の採択へ向けた取り組みなど、常に自己研鑽と技術力の向上に努めています。



高専技術教育研究発表会の様子



授業指導の様子



キッズサイエンス教室(木更津市オーガニックシティフェスティバル)

実験実習棟

本校のものづくりの拠点となる実習工場を中核として、機械工学科、電気電子工学科、環境都市工学科の実験室が有機的に配置され、実践的な教育研究活動が展開されています。約1,500㎡からなる建屋は、平成21年度末において全面的に改修され、自然光を取り入れながら最新の空調設備を備えた明るく快適な空間に生まれ変わりました。実習工場では授業以外にも、本校教員の研究活動や産学連携活動に資する実験装置の製作、ロボコン、文化祭等のイベント支援、小中学生対象の公開講座実施等幅広く技術力を提供しています。実習工場の主要設備は次のようになります。

- ・ casting LP gas dissolution furnace
- ・ shielded arc gas welding assembly
- ・ lathe · CNC lathe · CNC flywheel
- NC planar grinding machine
- carbon dioxide laser processing machine



鑄造実習風景



機械工場

図書・ネットワークセンター棟

書籍とデジタル情報メディアの有機的統合を図るため、図書館の建屋にネットワーク情報センターを移設して統合し、2013年4月よりリニューアルオープンしました。耐震強度の確保、事務省力化、省エネルギーも達成しました。創造性豊かなものづくり力の育成、理系の枠をも超えた感性の育成、情報リポジトリの構築への展開が期待されています。

図書館

黙々と本を読むための従来型閲覧室のほか、グループ学習室、フリー閲覧スペース、インターネットマルチメディア室を備え、多様な学習形態に対応します。全面開架式書庫には、専門書はもちろん、話題の新刊や女性ファッション誌まであります。閲覧・貸出については、学外の方にもご利用いただけます。



蔵書数

区分	和書	洋書	計
総記	5,451	199	5,650
哲学	3,750	153	3,903
歴史	4,834	68	4,902
社会科学	4,809	129	4,938
自然科学	12,506	1,285	13,791
工学	17,784	693	18,477
産業	544	19	563
芸術	3,991	94	4,085
語学	3,354	1,162	4,516
文学	11,962	154	12,116
計	68,985	3,956	72,941

受入雑誌数

和雑誌	91
洋雑誌	2
計	93

視聴覚資料数

CD	291
DVD	113
計	404

(平成31年4月1日現在)

ネットワーク情報センター

ネットワーク情報センターは校内全体に張り巡らされたキャンパスネットワーク、教育用コンピュータシステムを運用し、さまざまな情報サービスを提供しています。

キャンパスネットワークは、校内の約1000台のコンピュータを1ギガビット／秒以上の高速ネットワークで接続しています。本校ネットワークは1ギガビット／秒で学術情報ネットワークに接続され、インターネットにつながっています。

コンピュータ実習室(図書・ネットワークセンター棟1階)と特別教室(講義棟A)にそれぞれ49台のPCが設置され、プログラミング演習、専門科目、外国語等の授業や研究で活用されています。実習室は平日8時40分から19時45分まで開放され、放課後の自学自習等に利用できます。さらに土曜日も12時10分から16時45分まで、インターネット・マルチメディアルームで実習室と同じPC環境が使えます。

ネットワーク情報センターのサービスは、10台を超えるサーバコンピュータによって支えられています。



主要施設等

学 寮

雄峰寮



なのはな寮



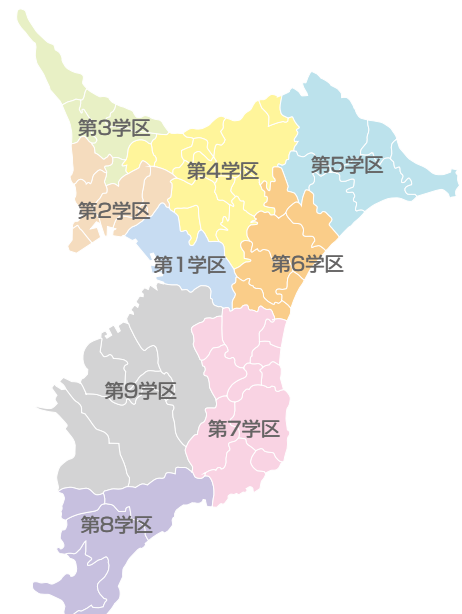
名 称	雄峰寮(男子寮) なのはな寮(女子寮)
収容人員	313名(男子寮) 60名(女子寮)
施 設	居室、談話室、補食コーナー・洗濯コーナー、食堂、浴室、舎監室、事務室、他。 1)寮生の居室には、机、椅子、ベッド、更衣ロッカーが備え付けてある。 2)男子寮居室は2人部屋、個室がある。女子寮居室は全室個室である。
寄 宿 料	月額 700 円 ただし、個室は 800 円
寮 費	月額 50,000 円程度
寮 友 会	寮友会は、寮生全員をもって構成し、学寮規程に則り、学校の指導と助言のもと、寮生相互の親睦を深めるとともに、寮生の自主的な活動を通じて、学寮における日常生活上の問題を処理し、充実した寮生活を送ることを目的として設置されている。

平成31年度 寮生数一覧表

学科	区分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	合計
機械工学科		9 1	8 3	17 5	12	11 1	57 9 1
電気電子工学科		18 4	11 3	7	14 1	12 1 1	62 8 2
電子制御工学科		15 1	13 2	16 2 1	9 4	12 4	65 13 1
情報工学科		16 2	12 1	13 1	7 1 1	6 1	54 5 2
環境都市工学科		17 5	12 4	14 4 1	9 4 1	13 3	65 20 2
計(人)		75 13	56 13	67 11 3	51 9 3	54 9 2	303 55 8

(平成31年4月1日現在)

(注) は女子学生を内数で示す。
 は留学生を内数で示す。



千葉県学区別寮生数 (平成31年4月1日現在)

	入試学区コード												
性別	県外	第1学区	第2学区	第3学区	第4学区	第5学区	第6学区	第7学区	第8学区	第9学区	留学生	外国	総計
男子	22	31	57	24	37	4	16	17	27	6	7		248
女子	3	10	15	4	7	2	1	3	7	1	1	1	55
総計	25	41	72	28	44	6	17	20	34	7	8	1	303

保健室

体調不良や、外傷等に対する応急処置や疾病・怪我の程度に応じ、医療機関への照会等の対応を行っています。

そのほか、定期健康診断・健康面の相談対応・災害共済給付の申請・学校感染症関係・健康診断証明書の発行や各種環境検査（飲料水水質検査・プール水質検査・空気検査・照度検査など）を行って、学生の皆さんが、快適な学校生活をおくるためのサポートをしています。



保健室

学生相談室

楽しく充実した高専生活を送るために、学生相談室が置かれています。勉強に関すること、クラブ活動のこと、健康のこと、友人関係はもちろん、両親や担任教員に言いにくいことなど、学生の悩みや問題解決のため、カウンセラーを中心に相談に応じえています。カウンセラーの予約は保健室で行なっています。



学生相談室

学生支援スペース

主に学生の学習支援を実施するため、学生支援スペースが設けられています。

講師の方にお越しいただき、希望者を対象に特別補講を実施しています。



学生支援スペース

学生食堂・売店

学生の福利厚生のため、200人収容の学生食堂や、文房具等を販売している売店があります。



学生食堂・売店

課外活動館

課外活動館は課外活動のための施設として2011年に建てられました。課外活動館にはものづくり展示室、トレーニングルームと倉庫があります。

学友会館

学友会館は学生の福利厚生施設として1982年に建てられました。この2階建ての建物には学友会室、奏室、課外活動や合宿用の部屋があります。



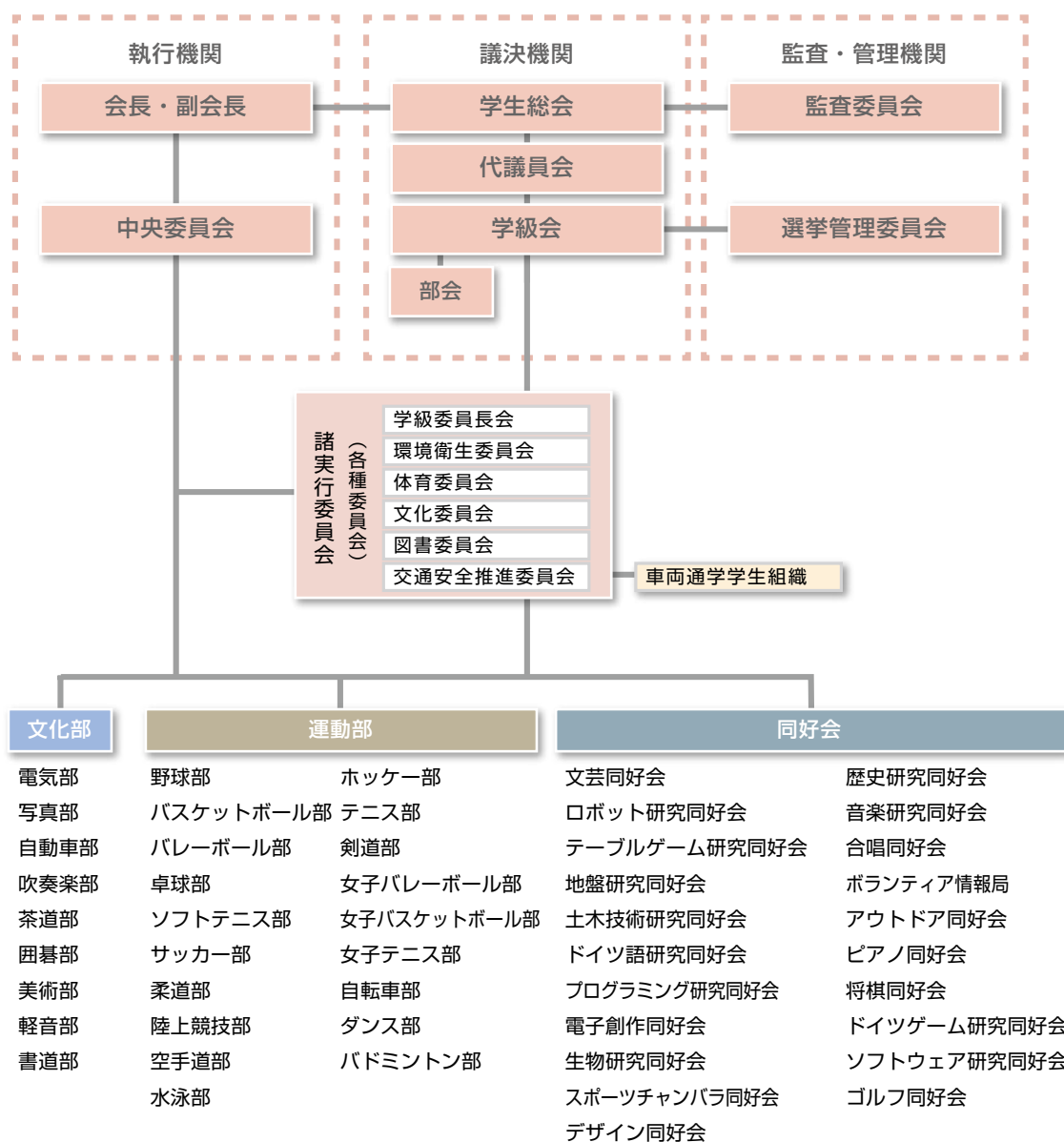
学友会館



課外活動館

学友会組織

本校では、勉学はもとより学生生活を通じて、自立、自考の精神を養うために、課外活動にも力を入れています。そのための学生組織として、学友会があり、現在、以下のような文化部、運動部そして同好会が結成され、活発に活動しています。学友会活動の拠点として学友会館があり、学生によって自治運営しています。



令和元年度の行事予定

前期

- 4 1-4 春季休業
- 5 入学式
- 8 始業式
新入生オリエンテーション
- 26-27 新入生合宿研修
- 5 22 体育祭
- 6 1 開校記念日
- 6-12 中間試験
- 7 29-8/2 定期試験
- 8 10-9/23 夏季休業
- 16-9/1 全国高専体育大会
- 9 24-30 補講期間



入学式



体育祭

後期

- 10 8 アイデア対決・
全国高等専門学校ロボットコンテスト
関東甲信越地区大会(サレジオ高専)
- 13-14 プログラミングコンテスト(都城高専)
- 11 2-3 学園祭
- 5-8 4年生見学旅行
- 23 関東信越地区高専英語弁論大会(群馬高専)
- 24 アイデア対決・
全国高等専門学校ロボットコンテスト全国大会
(両国国技館)
- 25-29 中間試験
- 12 17 マラソン大会
- 25-1/5 冬季休業
- 1 22 入学試験(推薦)
- 31-2/6 定期試験
- 2 16 入学試験(学力)
- 19-21 補講期間
- 21 終業式
- 22-3/31 学年末休業
- 24-26 3年生スキー合宿研修
- 3 19 修了式・卒業式



ロボットコンテスト



学園祭



修了式・卒業式

学生の概況

学生定員・現員

準学士課程

(平成31年4月1日現在)

学科	区分	総定員	現 員																	
			1 年			2 年			3 年			4 年			5 年			合計		
機械工学科		200	43	4	44	5	40	6		43			39	1	1	209	16	1		
電気電子工学科		200	42	7	49	10	36	6		34	2	1	42	5	1	203	30	2		
電子制御工学科		200	44	5	46	5	47	2	1	32	8		40	5		209	25	1		
情報工学科		200	44	7	47	9	45	1	1	37	6	1	37	4		210	27	2		
環境都市工学科		200	43	11	40	15	47	14	1	46	16	1	41	13		217	69	2		
計		1,000	216	34	226	44	215	29	3	192	32	3	199	28	2	1,048	167	8		

専攻科

(平成31年4月1日現在)

専攻	区分	総定員	現 員								
			1 年			2 年			合計		
機械・電子システム工学専攻		8	11			17	2		28	2	
制御・情報システム工学専攻		8	12	1	1	17	1		29	2	1
環境建設工学専攻		4	7	1		8	3		15	4	
計		20	30	2	1	42	6		72	8	1

(注)

は女子学生を内数で示す。

は留学生を内数で示す。

入学状況

準学士課程 (平成31年度入学生)

学科	機械工学科	電気電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	環境都市工学科	合計
募集定員	40	40	40	40	40	200
志願者数	70	60	86	84	54	354
推薦選抜入学者	22 4	22 5	22 3	22 5	22 7	110 24
学力選抜入学者	21	20 2	22 2	22 2	20 4	105 10
入学者合計	43 4	42 7	44 5	44 7	42 11	215 34
編入学者(4年)						
留学生(3年)			1	1	1	3

専攻科 (平成31年度入学生)

専攻	機械・電子システム工学専攻	制御・情報システム工学専攻	環境建設工学専攻	合計
募集定員	8	8	4	20
志願者数	17	15 1	10 1	42 2
入学者合計	11	12 1	7 1	30 2

外国人留学生

(平成31年4月1日現在)

学科	学年	機械工学科			電気電子工学科			電子制御工学科			情報工学科			環境都市工学科			専攻科	合計
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	1年	
マレーシア				1			1 1					1		1				4 1
モンゴル						1		1				1						3
ラオス															1			1
ベトナム																	1	1
合計				1		1	1 1 1				1	1		1	1		1	9 1

出身地別学生数

(平成31年4月1日現在)

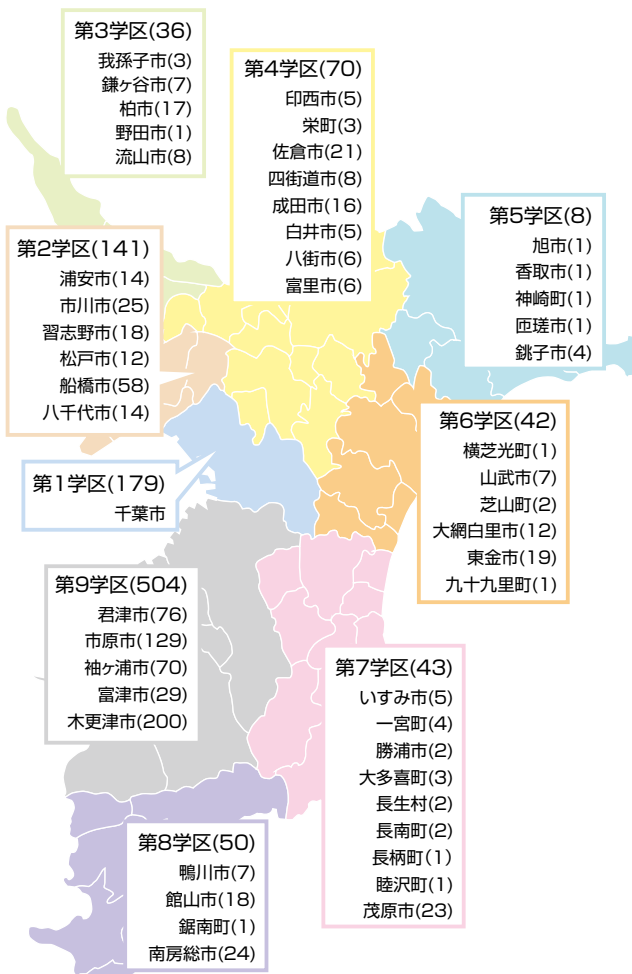
学区	出身地	準学士課程						専攻科			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	計	1年	2年	計	
		1年	2年	3年	4年	5年	計	1年	2年	計	
千葉県	1 千葉市	40	38	42	22	28	170	5	4	9	179
	2 浦安市	3	2	5	2	1	13		1	1	14
	市川市	2	4	5	7	4	22		3	3	25
	習志野市	4	3	3	2	6	18				18
	松戸市	3	1	2	1	4	11	1		1	12
	船橋市	11	12	18	9	6	56	1	1	2	58
	八千代市	6	2	1	1		10	4		4	14
	3 我孫子市		1			2	3				3
	鎌ヶ谷市	2	1		2	2	7				7
	柏市	4	3	4	3	2	16	1		1	17
	野田市	1					1				1
	流山市	4	1	1	1	1	8				8
	印西市		1	1	2	1	5				5
	栄町	1			1	1	3				3
	佐倉市	3	4	4	4	5	20	1		1	21
	四街道市	1	3		1	2	7		1	1	8
	成田市	4	2	5	2	2	15		1	1	16
	白井市	2	1		1		4		1	1	5
	八街市	1	4	1			6				6
	富里市	1	3			2	6				6
	5 旭市				1		1				1
	香取市		1				1				1
	神崎町					1	1				1
	匝瑳市		1				1				1
	銚子市	1			1	1	3		1	1	4
	6 横芝光町		1				1				1
	山武市		2	3	1	1	7				7
	芝山町	1				1	2				2
	大網白里市	4		4	1	3	12				12
	東金市	2	5	1	5	4	17	1	1	2	19
	九十九里町								1	1	1
	7 いすみ市		1	2	1	1	5				5
	一宮町				1	3	4				4
	勝浦市					1	1	1		1	2
	大多喜町	1	1		1		3				3
	長生村		1			1	2				2
	長南町			1		1	2				2
	長柄町	1					1				1
	睦沢町					1	1				1
	茂原市	2	7	2	7	3	21	2		2	23
	8 鴨川市	2		2	2		6		1	1	7
	館山市	1	3	10	2	2	18				18
	鋸南町		1				1				1
	南房総市	4	7	4	3	4	22	1	1	2	24
	君津市	17	13	11	16	14	71		5	5	76
	市原市	27	29	19	20	27	122	2	5	7	129
	9 袖ヶ浦市	16	9	11	14	10	60	3	7	10	70
	富津市	1	7	5	5	9	27	1	1	2	29
	木更津市	37	43	34	41	34	189	5	6	11	200
県内計		210	218	201	183	191	1,003	29	41	70	1,073
県外	愛媛県		1				1				1
	茨城県		1	2			3				3
	岩手県			1			1				1
	宮城県	1				1	2				2
	埼玉県		1	1	1		3		1	1	4
	神奈川県	2	2	3	1	2	10				10
	青森県				1		1				1
	石川県				1		1				1
	東京都	2	1	4	2	1	10				10
	福岡県					1	1				1
	北海道	1	1				2				2
	外国の学校		1			1	2				2
県外計		6	8	11	6	6	37		1	1	38
留学生	マレーシア			1	1	2	4				4
	ラオス				1		1				1
	ベトナム							1		1	1
	モンゴル			2	1		3				3
留学生計				3	3	2	8	1		1	9
総計		216	226	215	192	199	1,048	30	42	72	1,120

奨学生数

(平成31年4月1日現在)

奨学金種類	準学士課程					専攻科		合計
	1年	2年	3年	4年	5年	1年	2年	
日本学生支援機構奨学金	給付奨学金				2	2		4
	第一種奨学金(無利息)	1	2	5	6	7	3	26
	第二種奨学金(有利子)				3	2	2	7
	合計	1	2	5	11	11	5	37

千葉県内学区別学生数分布図



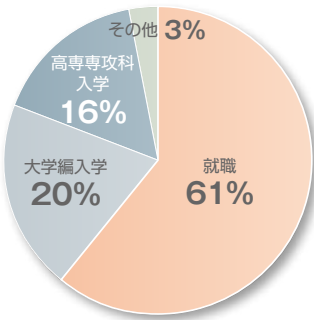
学生の概況

進路状況

準学士課程

平成30年度卒業生の進路状況

学 科	卒業生数	就職者数	進学者数	その他
機械工学科	40	29	10	1
電気電子工学科	38	24	13	1
電子制御工学科	38	26	10	2
情報工学科	35	20	13	2
環境都市工学科	36	14	22	
合 計	187	113	68	6



平成30年度卒業生の就職先一覧(準学士課程)

機械工学科	電気電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	環境都市工学科
TMC システム株式会社 1	ANA ベースメンテナンステクニクス株式会社 1	ANA ラインメンテナンステクニクス株式会社 1	アプシイ株式会社 1	JR 東日本コンサルタンツ株式会社 1
いすゞエンジニアリング株式会社 1	ANA ラインメンテナンステクニクス株式会社 1	コベルコソフトサービス株式会社 1	エリクソン・ジャパン株式会社 1	エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社 1
サントリービール株式会社 1	JNC 石油化学株式会社 1	サンリットオートメーション株式会社 1	ニフティ株式会社 1	横浜市水道局 1
サントリープロダクツ株式会社 1	エスエス製薬株式会社 1	ファナック株式会社 1	ネクシオン株式会社 1	開発虎ノ門コンサルタンツ株式会社 1
ショーボンド建設株式会社 1	キャノンメディカルシステムズ株式会社 1	ホソカワミクロン株式会社 1	ネットワンシステムズ株式会社 1	株式会社 NIPPO 1
マブチモーター株式会社 1	コーワメックス株式会社 1	株式会社 JAL エンジニアリング 1	パシフィックゴルフマネージメント株式会社 1	株式会社シェイアル総研エンジニアリング 1
株式会社 IHI 1	サントリープロダクツ株式会社 1	株式会社 MBM 1	株式会社 NTT データ エムシーエス 1	株式会社 駒井ハルテック 1
株式会社 MBM 1	サントリープロダクツ株式会社 1	株式会社 NTT 東日本・南関東 3	株式会社 エイエイエス 1	宮地エンジニアリング株式会社 1
株式会社 NTT-ME 南関東販売 1	ソニー LSI デザイン株式会社 1	株式会社 SUBARU 2	株式会社 エイジング 1	長谷川体育施設株式会社 1
株式会社 SUBARU 1	株式会社 NTT 東日本・南関東 1	株式会社 イシダ 1	株式会社 エヌ・ティ・ティ エムイー 1	東京水道サービス株式会社 1
株式会社 サザビリー・アイビー・カンパニー 1	株式会社 テクノプロ・テクノ・IT 社 1	株式会社 シーネット 1	株式会社 コアコンセプトテクノロジー 1	東京都下水道サービス株式会社 1
株式会社 シード 1	株式会社 メジャーシステム 1	株式会社 ニッペコ 1	株式会社 サクラ 1	東京湾横断道路株式会社 1
株式会社 マイスターエンジニアリング 1	株式会社 資生堂 1	株式会社 資生堂 1	株式会社 テレマ 1	木更津市土木中級職 2
株式会社 ユーコウ 1	君津共同火力株式会社 1	株式会社 日立産業制御ソリューションズ 1	株式会社 ナレッジコミュニケーション 1	
黒田精工株式会社 1	三井化学株式会社 1	株式会社 朋栄 2	株式会社 メンバーズ 2	
出光興産株式会社 4	三井不動産株式会社 1	株式会社 明電舎 1	株式会社 日本アシスト 1	
小池酸素工業株式会社 1	住友電設株式会社 1	黒田精工株式会社 1	東海旅客鉄道株式会社 1	
昭和アステック株式会社 1	出光興産株式会社 1	三井 E&S フラントエンジニアリング株式会社 1	日立化成株式会社 1	
千代田工商株式会社 1	森トラスト・ビルマネジメント株式会社 1	成田空港給油施設株式会社 1	富士通クラウドテクノロジーズ株式会社 1	
全日本空輸株式会社 1	大陽日酸株式会社 1	東海旅客鉄道株式会社 1		
東海旅客鉄道株式会社 2	長生郡市広域市町村圏組合 1	日本オーチスエレベータ株式会社 1		
東京ガスパイプライン株式会社 1	東海旅客鉄道株式会社 1	富士フイルムメディカル株式会社 1		
日東電工株式会社 関東支社 1	東京電力ホールディングス株式会社 1			
日本オーチスエレベーター株式会社 1	東芝エレベータ株式会社 1			
日本空港テクノ株式会社 1				
合 計	29	24	26	14

卒業生の高等専門学校専攻科入学状況

高専名	入学年度	平成27年度以前	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	合計
木更津工業高等専門学校専攻科		487	34	39	40	30	630
八戸工業高等専門学校専攻科		1					1
鶴岡工業高等専門学校専攻科		1					1
福島工業高等専門学校専攻科		1					1
東京工業高等専門学校専攻科		2					2
豊田工業高等専門学校専攻科		2					2
鈴鹿工業高等専門学校専攻科		1					1
奈良工業高等専門学校専攻科		1					1
舞鶴工業高等専門学校専攻科		1					1
松江工業高等専門学校専攻科		1					1
広島商船高等専門学校専攻科			1				1
久留米工業高等専門学校専攻科		1					1
都立産業技術高等専門学校専攻科		1					1
合 計		500	35	39	40	30	644

卒業生の大学編入学状況

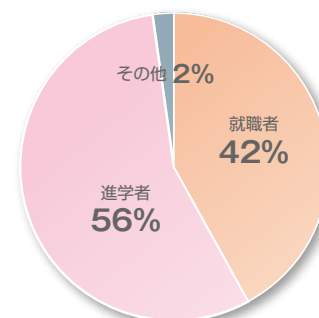
大学名	入学年度 平成27年度 以前	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	合計
北海道大学	18					18
室蘭工業大学	7	1	1		1	10
北見工業大学	3					3
弘前大学	4	1				5
岩手大学	36					36
東北大学	17	1				18
秋田大学	34	1				35
山形大学	32					32
茨城大学	49			4	1	54
筑波大学	48		3			51
宇都宮大学	46	1	3	1		51
群馬大学	32			1		33
埼玉大学	12			1		13
千葉大学	270	5	5	4	3	287
東京大学	15					15
東京農工大学	97	2	2	1	1	103
東京工業大学	13			1		14
東京海洋大学	22	2				24
お茶の水女子大学	3					3
電気通信大学	74	2	2	2		80
横浜国立大学	12				1	13
新潟大学	24	2		2	1	29
長岡技術科学大学	375	14	9	11	11	420
富山大学	6					6
金沢大学	3					3
福井大学	16		2	1		19
山梨大学	68	1	4	2	1	76
信州大学	34	1	1		2	38
岐阜大学	9	2		1		12

大学名	入学年度 平成27年度 以前	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	合計
静岡大学	6					6
名古屋工業大学	1					1
豊橋技術科学大学	220	8	6	8	7	249
三重大学	4				1	5
京都大学	5					5
京都工芸繊維大学	8		1			9
大阪大学	2					2
神戸大学	6		1			7
和歌山大学	7					7
鳥取大学	2					2
島根大学	4					4
岡山大学	2					2
広島大学	6					6
山口大学	8					8
徳島大学	3			1		4
愛媛大学	2					2
香川大学	2					2
高知大学	3					3
九州大学	8		1			9
九州工業大学	21				1	22
佐賀大学	5			1	1	7
長崎大学	6					6
熊本大学	7					7
大分大学			1			1
宮崎大学	2					2
鹿児島大学	4					4
琉球大学	8		1	3		12
その他の大学	234	9	11	13	6	273
合計	1,965	53	54	58	38	2,168

専攻科

平成30年度修了生の進路状況

専攻	修了者数	就職者数	進学者数	その他
機械・電子システム工学専攻	15	4	11	
制御・情報システム工学専攻	17	8	9	
環境建設工学専攻	9	5	3	1
合計	41	17	23	1



平成30年度修了生の就職先・進学先一覧

	機械・電子システム工学専攻		制御・情報システム工学専攻		環境建設工学専攻	
就職先	株式会社アドヴィックス	1	グローリー株式会社	1	株式会社ドベル	1
	日野自動車株式会社	1	株式会社シンクロ・フード	1	袖ヶ浦市（土木上級）	1
	出光興産株式会社	1	SEMITEC 株式会社	1	柏市（土木技師上級）	1
	株式会社マイスターエンジニアリング	1	パナソニック株式会社 エナジー事業	1	千葉県（土木上級）	2
			株式会社エヌアイティ	1		
			アスクール株式会社	1		
			ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社	1		
			東日本旅客鉄道株式会社	1		
	合 計	4	合 計	8	合 計	5
進学先	筑波大学大学院	4	筑波大学大学院	4	東京大学大学院	1
	長岡技術科学大学大学院	1	信州大学大学院	1	東京工業大学大学院	1
	電気通信大学大学院	1	千葉大学大学院	1	東北大学大学院	1
	横浜国立大学大学院	1	慶應義塾大学大学院	2		
	東京大学大学院	1	情報セキュリティ大学院大学	1		
	東京工業大学大学院	1				
	東京医科歯科大学大学院	1				
	慶應義塾大学大学院	1				
	合 計	11	合 計	9	合 計	3

収入額 (単位：千円)

科 目	決算額
運営費交付金(資金送金総額)	57,059
授業料等収入	271,872
その他収入 (講習料・職員宿舍料・寄宿料・貸付料・その他)	10,990
施設設備費補助金	101,506
その他補助金	42,455
合 計	483,882

支出額 (単位：千円)

科 目	決算額
物件費等 (物件費・施設維持費・旅費等)	339,921
施設設備費	101,506
その他補助金	42,455
合 計	483,882

科学研究費補助金採択状況 (新規・継続の代表者獲得分) (単位：千円)

研究題目 年度	基盤研究 A		基盤研究 (B)		基盤研究 C		挑戦的萌芽研究		奨励研究		若手研究 A		若手研究 B		若手研究(スタートアップ)		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
平成24年度					5	6,500			2	1,000			1	400			8	7,900
平成25年度					6	5,600			2	1,100			3	3,600			11	10,300
平成26年度	1	10,530			9	17,940			3	1,500			4	5,850	2	2,730	19	38,550
平成27年度	1	7,020			9	11,570	2	3,770	2	1,100	1	3,770	6	6,890	2	2,080	23	36,200
平成28年度					14	20,540	2	2,340	3	1,430	1	5,460	5	7,670			25	37,440
平成29年度			1	4,160	13	16,120	2	3,120	2	1,110	1	2,340	6	9,100			25	35,755
平成30年度			3	20,930	18	21,970	2	2,470	1	530	1	2,210	4	4,680			29	52,790

※平成26年度分より間接経費を含む(奨励研究以外)。また他機関からの分担金は含まず。
基盤研究(B)は海外分を含む。

民間との共同研究受入状況 (単位：千円)

平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
8	654	17	3,353	11	4,992	10	3,942	16	9,813	7	6,145	7	4,147

受託研究受入状況 (単位：千円)

平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
5	13,494	3	27,300	3	7,764	3	7,655	1	1,080	2	1,700	3	10,195

奨学寄附金受入状況 (単位：千円)

平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
22	13,876	18	11,882	24	11,327	29	13,872	19	8,465	20	10,210	16	9,829

施設の概要

敷地

(平成31年4月1日現在)

校地 College Area	職員宿舎 Staff Housing		総面積 Land Area
清見台キャンパス	祇園	高砂	
100,054m ²	1,736m ²	2,760m ²	104,550m ²

配置図



建物

■ 教育研究施設 ■ 学生向け施設 ■ その他管理施設

区 分	構造・階数	面積	建築年	区 分	構造・階数	面積	建築年
1 管理棟	R・2	4,090m ²	S42	15 第2体育館	S・1	880m ²	S58
2 一般研究棟	R・2-1			16 武道場	S・1	311m ²	S44
3 科学実験棟	R・2			19 課外活動館	S・1	205m ²	S52・53
4 総合教育棟	R・4	3,522m ²	H15	20 学友会館	R・2	702m ²	S56
5 第1研究棟	R・4	4,091m ²	S43・44	21 学 寮(雄峰寮)	R・4-1	6,233m ²	S42~44・S60
6 第2研究棟	R・4	2,200m ²	S59	22 学 寮(なのはな寮)	R・4-1	1,099m ²	H12
7 第3研究棟	R・5	2,183m ²	H4	23 ものづくり工房	S・1	102m ²	S50
8 地域共同テクノセンター	R・2	414m ²	H12	17 プール附属施設	R・1	258m ²	H6
9 実験実習棟	S・1	1,561m ²	S43・44	18 体育器具庫	R・1	58m ²	S45
10 講義棟A	R・2	717m ²	S63	24 生活排水処理施設	R・1	30m ²	S54
11 講義棟B	R・1	398m ²	S42	25 車庫	S・1	112m ²	S44
12 講義棟C	R・1	302m ²	S50	26 倉庫他	B・1	479m ²	S45~S60
13 図書・ネットワークセンター棟	R・3	1,771m ²	S51	27 門衛所	S・1	24m ²	H16
14 第1体育館	S・1	1,153m ²	S43	計		32,895m ²	

※R=鉄筋コンクリート造り S=鉄骨造り B=ブロック造り

交通案内

- ・木更津駅からバスで 15 分
清見台団地行(西口 2 番・東口 6 番)
高専前下車、徒歩 2 分
- ・木更津駅までのアクセス
 - 東京駅から JR 京葉線・内房線特急 55 分
JR 京葉線・内房線快速 85 分
高速バス 約 60 分
 - 羽田空港から 高速バス 約 40 分
 - 成田空港から JR 成田線快速・内房線 約 120 分
高速バス 約 100 分
 - 横浜駅から 高速バス 約 60 分
- ・車の場合
館山自動車道 木更津北 IC から車で 約 10 分



独立行政法人 国立高等専門学校機構

木更津工業高等専門学校

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1
TEL 0438-30-4000(代表) FAX 0438-98-5717

<http://www.kisarazu.ac.jp/>

